

W790 AI TOP

ユーザーズマニュアル

改版 102



GIGABYTE は、地球市民としての責任を果たすため、紙の使用量を削減します。また、地球温暖化の影響を軽減するために、本製品の梱包材料はリサイクルおよび再使用可能です。GIGABYTE は皆さまのご協力のもと、環境を保護いたします。
製品の詳細については、GIGABYTE の Web サイトにアクセスしてください。

著作権

© 2024 GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD. 著作権所有。

本マニュアルに記載された商標は、それぞれの所有者に対して法的に登録されたものです。

免責条項

このマニュアルの情報は著作権法で保護されており、GIGABYTE に帰属します。このマニュアルの仕様と内容は、GIGABYTE により事前の通知なしに変更されることがあります。本マニュアルのいかなる部分も、GIGABYTE の書面による事前の承諾を受けることなしには、いかなる手段によっても複製、コピー、翻訳、送信または出版することは禁じられています。

- 詳細な製品情報については、ユーザーズマニュアルをよくお読みください。
- 製品を素早くセットアップできるように、GIGABYTE ウェブサイトにあるクイック・インストール・ガイドをご参照ください。

https://download.gigabyte.com/FileList/Manual/mb_manual_quick-guide_w790.pdf

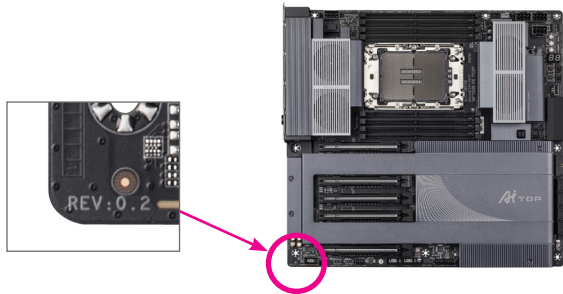
製品関連の情報は、以下の Web サイトを確認してください：

<https://www.gigabyte.com/jp/>

マザーボードリビジョンの確認

マザーボードのリビジョン番号は「REV: X.X.」のように表示されます。例えば、「REV: 1.0」はマザーボードのリビジョンが 1.0 であることを意味します。マザーボード BIOS、ドライバを更新する前に、または技術情報をお探しの際は、マザーボードのリビジョンをチェックしてください。

例：

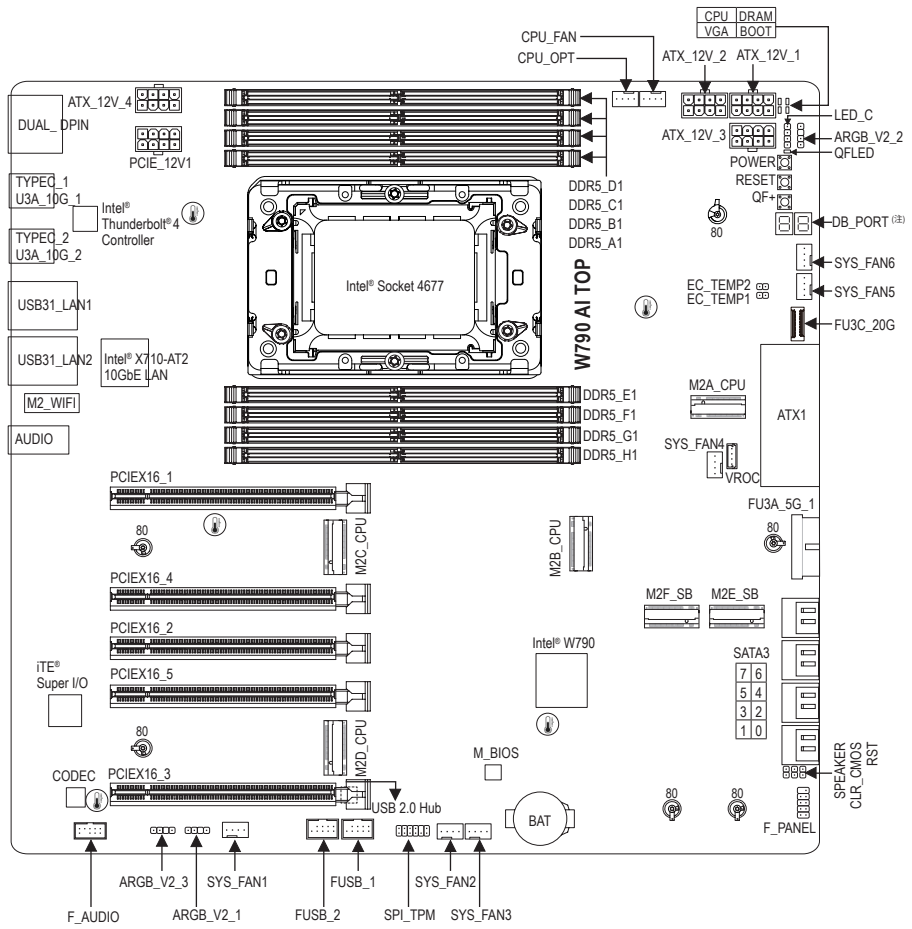


目次

| | | |
|-------|---------------------------------|----|
| 第 1 章 | 製品紹介..... | 4 |
| 1-1 | マザーボードのレイアウト..... | 4 |
| 1-2 | マザーボードのブロック図..... | 5 |
| 1-3 | ボックスの内容..... | 6 |
| 第 2 章 | ハードウェアの取り付け..... | 7 |
| 2-1 | 取り付け手順..... | 7 |
| 2-2 | 製品の仕様..... | 8 |
| 2-3 | CPU および CPU クーラーの取り付け..... | 11 |
| 2-4 | メモリの取り付け..... | 14 |
| 2-5 | 拡張カードを取り付ける..... | 16 |
| 2-6 | 背面パネルのコネクター..... | 17 |
| 2-7 | オンボードボタンおよびLED..... | 19 |
| 2-8 | 内部コネクター..... | 21 |
| 第 3 章 | BIOS セットアップ..... | 37 |
| 第 4 章 | オペレーティングシステムとドライバをインストールする..... | 39 |
| 4-1 | オペレーティングシステムのインストール..... | 39 |
| 4-2 | ドライバのインストール..... | 40 |
| 第 5 章 | RAID セットを設定する..... | 41 |
| 5-1 | RAID セットを設定する..... | 41 |
| 5-2 | LEDのデバッグコードについて..... | 42 |
| | Regulatory Notices..... | 46 |
| | 連絡先..... | 49 |

第 1 章 製品紹介

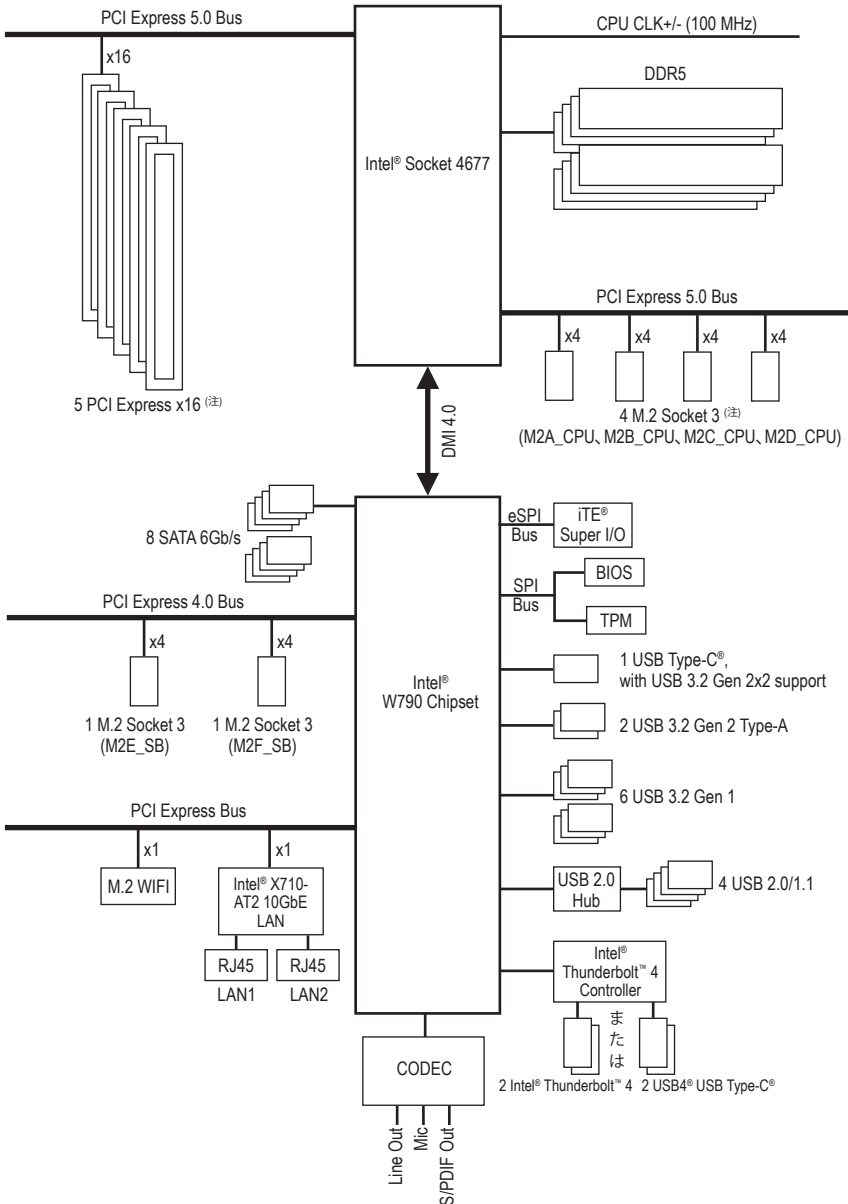
1-1 マザーボードのレイアウト



🌡️ 温度センサー

(注) デバッグコードについては、「デバッグLEDコード」のページを参照してください。

1-2 マザーボードのブロック図



(注) 実際のサポートはCPUによって異なる場合があります。

1-3 ボックスの内容

- ☑ W790 AI TOP マザーボード
- ☑ ユーザーズマニュアル
- ☑ クイックインストールガイド
- ☑ アンテナ (x1)
- ☑ SATAケーブル (x4)
- ☑ 温度計用ケーブル (x2)
- ☑ 結束バンド (x1)
- ☑ DisplayPort 入力ケーブル (x2)
- ☑ CPU キャリア (x2)
- ☑ デュアル 24 ピン ATX 電源アダプタ ケーブル (x1)
- ☑ M.2 サーマルパッド (x4)

* 上記、ボックスの内容は参照用となります。実際と同梱物はお求めいただいた製品/パッケージにより異なる場合があります。また、ボックスの内容については、予告なしに変更する場合があります。







第 2 章 ハードウェアの取り付け





2-1 取り付け手順










マザーボードには、静電気放電(ESD)の結果、損傷する可能性のある精巧な電子回路やコンポーネントが数多く含まれています。取り付ける前に、ユーザーズマニュアルをよくお読みになり、以下の手順に従ってください。

- 取り付け前に、PCケースがマザーボードに適していることを確認してください。
- 取り付け前に、マザーボードの S/N (シリアル番号) ステッカーまたはディーラーが提供する保証ステッカーを取り外したり、はがしたりしないでください。これらのステッカーは保証の確認に必要です。
- マザーボードまたはその他のハードウェアコンポーネントを取り付けたり取り外したりする前に、常にコンセントからコードを抜いて電源を切ってください。
- ハードウェアコンポーネントをマザーボードの内部コネクタに接続しているとき、しっかりと安全に接続されていることを確認してください。
- マザーボードを扱う際には、金属リード線やコネクタには触れないでください。
- マザーボード、CPUまたはメモリなどの電子コンポーネントを扱うとき、静電気放電(ESD)リストストラップを着用することをお勧めします。ESD リストストラップをお持ちでない場合、手を乾いた状態に保ち、まず金属に触れて静電気を取り除いてください。
- マザーボードを取り付ける前に、ハードウェアコンポーネントを静電防止パッドの上に置か、静電遮断コンテナの中に入れてください。
- マザーボードから電源装置のケーブルを接続するまたは抜く前に、電源装置がオフになっていることを確認してください。
- パワーをオンにする前に、電源装置の電圧が地域の電源基準に従っていることを確認してください。
- 製品を使用する前に、ハードウェアコンポーネントのすべてのケーブルと電源コネクタが接続されていることを確認してください。
- マザーボードの損傷を防ぐために、ネジがマザーボードの回路やそのコンポーネントに触れないようにしてください。
- マザーボードの上またはコンピュータのケース内部に、ネジや金属コンポーネントが残っていないことを確認してください。
- コンピュータシステムは、平らでない面の上に置かないでください。
- コンピュータシステムを高温または湿った環境に設置しないでください。
- 取り付け中にコンピュータのパワーをオンにすると、システムコンポーネントが損傷するだけでなく、ケガにつながる恐れがあります。
- 取り付けの手順について不明確な場合や、製品の使用に関して疑問がある場合は、正規のコンピュータ技術者にお問い合わせください。
- アダプタ、延長電源ケーブルまたはテーブルタップを使用する場合は、その取り付けおよび接続手順を必ずお問い合わせください。

2-2 製品の仕様

| | |
|--|---|
|  CPU | <ul style="list-style-type: none">◆ LGA4677 ソケット: Intel® Xeon® W-3500/W-3400/W-2500/W-2400 シリーズ・プロセッサ対応 (最新の CPU サポートリストについては、GIGABYTE の Web サイトにアクセスしてください。)◆ L3 キャッシュは CPUにより異なります |
|  チップセット | <ul style="list-style-type: none">◆ Intel® W790 Express チップセット |
|  メモリ | <ul style="list-style-type: none">◆ DDR5 4800 MHz メモリモジュールのサポート◆ 8 x DDR5 DIMMソケット<ul style="list-style-type: none">▶▶ Intel® Xeon® W-3500/W-3400 シリーズ・プロセッサは 8 チャンネル・メモリのアーキテクチャ対応▶▶ Intel® Xeon® W-2500/W-2400 シリーズ・プロセッサは 4 チャンネル・メモリのアーキテクチャ対応* Intel® Xeon® W-2500/W-2400 シリーズプロセッサをご利用する場合、DDR5_C1、DDR5_D1、DDR5_G1およびDDR5_H1 ソケットは使用できなくなります。◆ DDR5 ECC レジスタード・メモリモジュールと最大 2 TB のシステムメモリをサポート<ul style="list-style-type: none">▶▶ RDIMM-3DS メモリは DIMM あたり最大 256 GB をサポート▶▶ RDIMM メモリは DIMM あたり最大 64 GB をサポート◆ XMP (エクストリームメモリプロファイル) メモリモジュールのサポート (CPUやメモリの構成によって、対応するメモリの種類、データレート (速度)、DRAMモジュールの数に影響が出る場合がありますので、詳しくは、GIGABYTEのWebサイトに「メモリサポートリスト」を参照してください。) |
|  オーディオ | <ul style="list-style-type: none">◆ Realtek® オーディオコーデック◆ ハイディフィニションオーディオ◆ 2/4/5.1/7.1 チャンネル<ul style="list-style-type: none">* オーディオソフトウェアを使って、オーディオジャックの機能を変更することができます。7.1 チャンネルオーディオを設定するには、オーディオソフトウェアにて、オーディオの設定を行ってください。◆ S/PDIFアウトのサポート |
|  LAN | <ul style="list-style-type: none">◆ Intel® X710-AT2 10GbE LAN チップ (10 Gbps/5 Gbps/2.5 Gbps/1 Gbps/100 Mbps)<ul style="list-style-type: none">* Wake On LAN は非対応です |
|  無線通信 モジュール | <ul style="list-style-type: none">◆ Intel® Wi-Fi 7 BE200NGW<ul style="list-style-type: none">- 802.11a, b, g, n, ac, ax, be 規格の 2.4/5/6 GHz 信号キャリア周波数帯域対応- BLUETOOTH 5.4- 11be 320MHzワイヤレス規格に対応 <p>(実際のデータ転送速度は、ご使用の機器構成によって異なる場合があります。)</p> <ul style="list-style-type: none">* Wake On LAN は非対応です* Wi-Fi 7の機能を正しく動作させるには、Windows 11 SV3 以降が必要です。(Windows 10 用の対応ドライバーはありません。)* 6 GHz 帯の Wi-Fi 7 チャンネルが利用可能かどうかは、各国の規制によって異なります。 |

| | | |
|---|-------------------|---|
|  | 拡張スロット | <ul style="list-style-type: none"> ◆ CPU: <ul style="list-style-type: none"> - PCIe 5.0 をサポートし、x16で動作する 5 x PCI Express x16 スロット * Intel® Xeon® W-2500/W-2400 シリーズ プロセッサをご利用する場合、PCIEX16_4 および PCIEX16_5 スロットは使用できなくなります。 * PCI Express x16 スロットは、グラフィックスカードまたはNVMe SSDにのみ対応しています。最適のパフォーマンスを出すために、PCI Expressグラフィックスカードを1つしか取り付けけない場合、PCIEX16_1スロットに必ず取り付けてください。 |
|  | ストレージ インターフェイス | <ul style="list-style-type: none"> ◆ CPU: <ul style="list-style-type: none"> - M.2 コネクタ (x4) (Socket 3、M key、タイプ 2280 PCIe 5.0 x4/x2 SSD 対応) (M2A_CPU、M2B_CPU、M2C_CPU、M2D_CPU) * Intel® Xeon® W-2500/W-2400 シリーズ・プロセッサをご利用の場合、M2C_CPU および M2D_CPU コネクタは使用できなくなります。 ◆ チップセット: <ul style="list-style-type: none"> - M.2 コネクタ (x2) (Socket 3、M key、タイプ 2280 PCIe 4.0 x4/x2 SSD 対応) (M2E_SB、M2F_SB) - SATA 6Gb/s コネクタ (x8) ◆ NVMe SSD ストレージデバイスの RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10 サポート ◆ SATA ストレージデバイスの RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10 サポート |
|  | USB | <ul style="list-style-type: none"> ◆ チップセット+Intel® Thunderbolt™ 4 コントローラー: <ul style="list-style-type: none"> - 背面パネルに USB4® USB Type-C® ポート搭載 (x2) ◆ チップセット: <ul style="list-style-type: none"> - USB Type-C® 対応USB 3.2 Gen 2x2ポート搭載 (x1) (内部USBヘッダを通して1ポートが使用可能) - 背面パネルに USB 3.2 Gen 2 Type-A ポート (赤)搭載 (x2) - USB 3.2 Gen 1ポート (x6) (背面パネルに4つのポート、内部USBヘッダを通して2ポートが使用可能) ◆ チップセット+USB 2.0 ハブ: <ul style="list-style-type: none"> - USB 2.0/1.1ポート (x4) 内部USBヘッダ経由で使用可能 |
|  | 内部 コネクタ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 24 ピン ATX メイン電源コネクタ (x1) ◆ 8 ピン ATX 12V 電源コネクタ (x4) ◆ PCIe 電源コネクタ (x1) ◆ CPU ファンヘッダ (x1) ◆ CPUファン/水冷ポンプ用ヘッダ (x1) ◆ システムファンヘッダ (x6) ◆ Addressable RGB Gen2 LEDテープ用ヘッダ (x3) ◆ RGB LEDテープ用ヘッダ (x1) ◆ M.2 ソケット3 コネクタ (x6) ◆ SATA 6Gb/s コネクタ (x8) ◆ 前面パネルヘッダ (x1) ◆ 前面パネルオーディオヘッダ (x1) ◆ USB 3.2 Gen 2x2 に対応する USB Type-C®ヘッダ (x1) ◆ USB 3.2 Gen 1 ヘッダ (x1) ◆ USB 2.0/1.1 ヘッダ (x2) ◆ TPMモジュール用ヘッダ (x1) (GC-TPM2.0 SPI/GC-TPM2.0 SPI 2.0/GC-TPM2.0 SPI V2 モジュールのみ対応) ◆ 電源ボタン (x1) ◆ リセットボタン (x1) |

| | |
|--|--|
|  内部コネクタ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ Q-Flash Plus ボタン (x1) ◆ スピーカーヘッド (x1) ◆ リセットジャンパ (x1) ◆ 温度センサー用ヘッド (x2) ◆ CMOSクリアジャンパ (x1) ◆ Intel® VROC Upgrade Key用ヘッド (x1) |
|  背面パネルのコネクタ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ DisplayPort インポート (x2) ◆ Thunderbolt™ 4 コネクタ (USB4® USB Type-C® ポート) (x2) ◆ アンテナ用コネクタ (2T2R) (x2) ◆ USB 3.2 Gen 2 Type-A ポート (赤) (x2) ◆ USB 3.2 Gen 1 ポート (x4) ◆ RJ-45ポート (x2) ◆ 光学 S/PDIF 出力コネクタ (x1) ◆ オーディオジャック (x2) |
|  I/O コントローラー | <ul style="list-style-type: none"> ◆ iTE® I/O コントローラーチップ |
|  ハードウェアモニタ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 電圧検知 ◆ 温度検知 ◆ ファン速度検知 ◆ 水冷流量検知 ◆ ファン異常検知 ◆ ファン速度コントロール <ul style="list-style-type: none"> * ファン (水冷ポンプ)速度コントロール機能のサポートについては、取り付けたクーラー ファン (水冷ポンプ)によって異なります。 |
|  BIOS | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 512 Mbit フラッシュ (x1) ◆ 正規ライセンス版AMI UEFI BIOSを搭載 ◆ PnP 1.0a、DMI 2.7、WiFi 2.0、SM BIOS 2.7、ACPI 5.0 |
|  独自機能 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ GIGABYTE Control Center (GCC) のサポート <ul style="list-style-type: none"> * GCCで使用可能なアプリケーションは、マザーボードのモデルによって異なります。各アプリケーションのサポート機能もマザーボードのモデルによって異なります。 ◆ Q-Flash のサポート ◆ Q-Flash Plus のサポート ◆ Smart Backup のサポート |
|  バンドルされたソフトウェア | <ul style="list-style-type: none"> ◆ Norton® インターネットセキュリティ (OEM バージョン) ◆ LAN bandwidth management software |
|  オペレーティングシステム | <ul style="list-style-type: none"> ◆ Windows 11 64-bit のサポート (オペレーティングシステムのサポート情報については、GIGABYTE ウェブサイトをご確認ください。) |
|  フォームファクタ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ E-ATX フォームファクタ、30.5cm x 33.0cm |

* GIGABYTE は、予告なしに製品仕様と製品関連の情報を変更する場合があります。

☞ アプリの最新バージョンをダウンロードするには、GIGABYTE の Web サイトの **サポート | ユーティリティ** ページにアクセスしてください。

<https://www.gigabyte.com/jp/Support/Utility/Motherboard?m=ut>

2-3 CPU および CPU クーラーの取り付け



CPU を取り付けの前に次のガイドラインをお読みください：

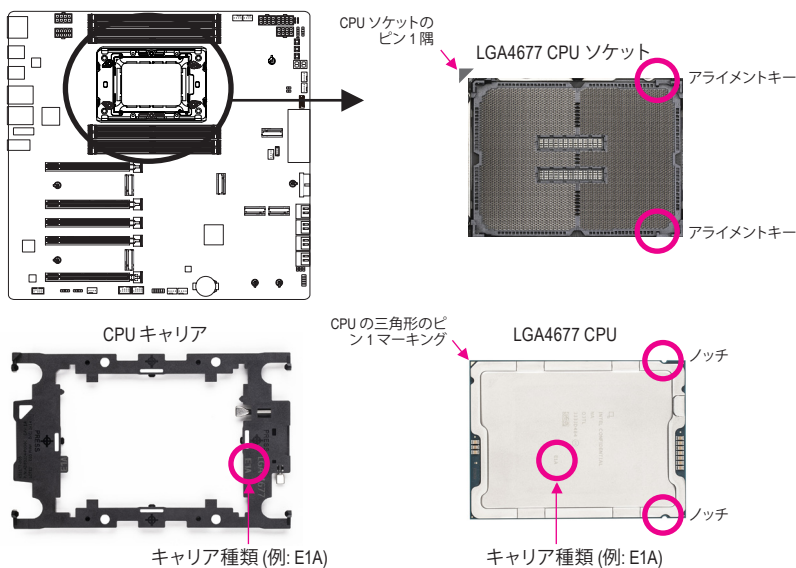
- マザーボードが CPU をサポートしていることを確認してください。
(最新の CPU サポートリストについては、GIGABYTE の Web サイトにアクセスしてください。)
- T30 星形ドライバーをご用意ください。
- ハードウェアが損傷する原因となるため、CPU を取り付けの前に必ずコンピュータの電源をオフにし、コンセントから電源コードを抜いてください。
- CPU の表面に熱伝導グリスを均等に薄く塗ります。
- CPU クーラーを取り付けずに、コンピュータの電源をオンにしないでください。CPU が損傷する原因となります。
- CPU の仕様に従って、CPU のホスト周波数を設定してください。ハードウェアの仕様を超えたシステムバスの周波数設定は周辺機器の標準要件を満たしていないため、お勧めできません。標準仕様を超えて周波数を設定したい場合は、CPU、グラフィックスカード、メモリ、ハードドライブなどのハードウェア仕様に従ってください。

A. CPU キャリアへの CPU の取り付け

CPU に応じて対応する CPU キャリアを選択します。キャリア名 (E1A、E1B) はキャリア上にマークされています。

※CPU キャリア種類：

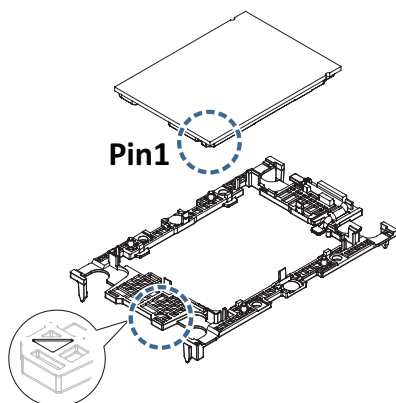
| CPU | Xeon® W-3500/W-3400 シリーズ | Xeon® W-2500/W-2400 シリーズ |
|--------|--------------------------|--------------------------|
| キャリア種類 | E1A | E1B |




☞ ハードウェア取り付けに関する詳細については、GIGABYTE の Web サイトにアクセスしてください。

<https://www.gigabyte.com/WebPage/210/quick-guide.html?m=sw>

1

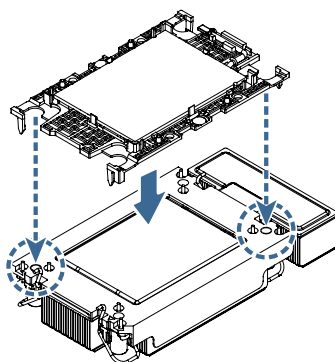


 CPUの位置を合わせて軽く押し下げ、キャリアに固定します。取り付けたCPUの表面に熱伝導グリスを均等に薄く塗ります。

B. CPU を CPU クーラーに取り付ける

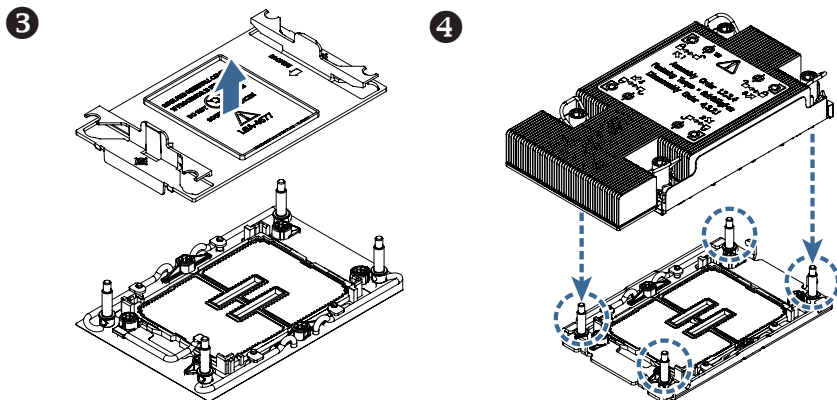
CPUクーラーの底部から保護カバーを取り外し、慎重に裏返します。次に、組み立てたCPUとキャリアをCPUクーラーの底部に取り付けます。四隅のキャリアラッチがヒートシンクに正しく固定されていることを確認します。

2



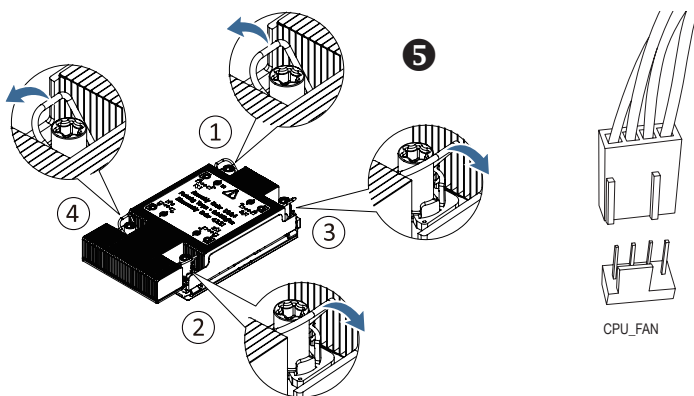
C. CPUクーラーとCPUをCPUソケットに配置する

- C-1 CPUソケットカバーを取り外します。CPUが装着されていないときは、CPUソケットを保護するために、必ずプラスチック製の保護カバーを取り付けてください。
- C-2 ガイドピンを使用してCPUクーラーをCPUソケットに合わせ、三角形のマークが正しい方向を向いていることを確認します。次に、CPUクーラーをCPUの上に配置します。(実際の取り付けプロセスは、使用するCPUクーラーによって異なることがあります。CPUクーラーについては、ユーザーズマニュアルを参照してください。)



D. CPUクーラーの固定

- D-1 4隅のスチールワイヤーを押し下げて、ロック位置に固定します。次に、T30星型ドライバーを使用して、1-2-3-4の順序でネジを締めます。(注:クーラーを取り外すときは、逆の順序4-3-2-1でネジを緩め、スチールワイヤーを上を持ち上げてロックを解除します。)
- D-2 最後に、CPUクーラーの電源コネクタをマザーボードのCPUファンヘッダ(CPU_FAN)に取り付けてください。



* 上記画像はイメージです。実際の商品とは外観が異なる場合があります。

2-4 メモリの取り付け



メモリを取り付ける前に次のガイドラインをお読みください：

- マザーボードがメモリをサポートしていることを確認してください。同じ容量、ブランド、速度、およびチップのメモリをご使用になることをお勧めします。(サポートされる最新のメモリ速度とメモリモジュールについては、GIGABYTEのWebサイトを参照ください。)
- ハードウェアが損傷する原因となるため、メモリを取り付ける前に必ずコンピュータの電源をオフにし、コンセントから電源コードを抜いてください。
- メモリモジュールは取り付け位置を間違えないようにノッチが設けられています。メモリモジュールは、一方向にしか挿入できません。メモリを挿入できない場合は、方向を変えてください。
- メモリ動作の安定性を維持するため、システム要件に基づき、必要に応じて適切な放熱ソリューションを追加してください。

メモリモジュールが間違ったスロットに取り付けられていると、起動時にメモリのステータスLEDが点灯します。メモリモジュールが正しいスロットに取り付けられていることを確認してください。メモリの取り付け方法については、表を参照してください。



8チャンネルのメモリ設定

Intel® Xeon® W-3500/W-3400 シリーズ・プロセッサは 8 チャンネル・メモリのアーキテクチャ対応。メモリを取り付けた後、BIOS はメモリの仕様と容量を自動的に検出します。8チャンネルメモリー・モードを有効にすると、元のメモリー帯域幅が最大8倍になります。

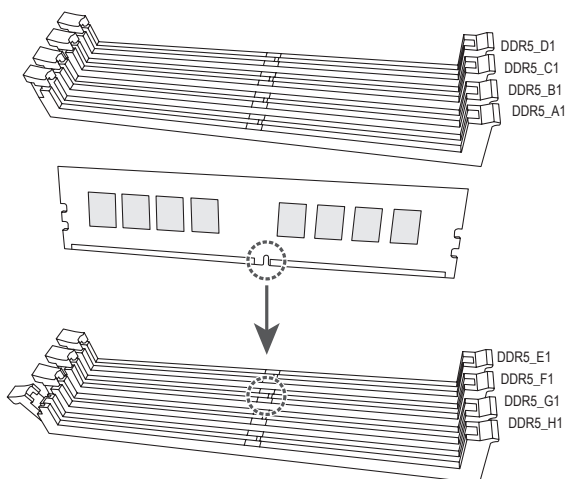
下記の通り、8つのメモリスロットは8つのチャンネルに分割されます：

- ▶▶ チャンネル A: DDR5_A1
- ▶▶ チャンネル B: DDR5_B1
- ▶▶ チャンネル C: DDR5_C1
- ▶▶ チャンネル D: DDR5_D1
- ▶▶ チャンネル E: DDR5_E1
- ▶▶ チャンネル F: DDR5_F1
- ▶▶ チャンネル G: DDR5_G1
- ▶▶ チャンネル H: DDR5_H1

※ 推奨メモリ構成：

| | DDR5_H1 | DDR5_G1 | DDR5_F1 | DDR5_E1 | DDR5_A1 | DDR5_B1 | DDR5_C1 | DDR5_D1 |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1つのモジュール | -- | -- | -- | -- | ✓ | -- | -- | -- |
| 1つのモジュール | -- | -- | -- | -- | -- | ✓ | -- | -- |
| 1つのモジュール | -- | -- | -- | ✓ | -- | -- | -- | -- |
| 1つのモジュール | -- | -- | ✓ | -- | -- | -- | -- | -- |
| 2つのモジュール | -- | ✓ | -- | -- | ✓ | -- | -- | -- |
| 2つのモジュール | -- | -- | -- | ✓ | -- | -- | ✓ | -- |
| 4つのモジュール | -- | ✓ | -- | ✓ | ✓ | -- | ✓ | -- |
| 6つのモジュール | -- | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | -- | ✓ | ✓ |
| 6つのモジュール | ✓ | ✓ | -- | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | -- |
| 6つのモジュール | ✓ | ✓ | -- | ✓ | -- | ✓ | ✓ | ✓ |
| 6つのモジュール | ✓ | ✓ | ✓ | -- | ✓ | -- | -- | ✓ |
| 8つのモジュール | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |

(“✓”=取り付け、“--”=メモリなし)

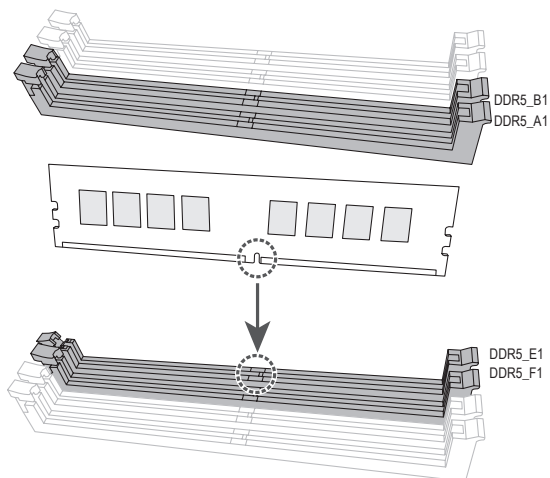


4チャンネルのメモリ設定

Intel® Xeon® W-2500/W-2400 シリーズプロセッサはクアッドチャンネルメモリをサポートしています。メモリを取り付けた後、BIOS はメモリの仕様と容量を自動的に検出します。クアッドチャンネルメモリ・モードを有効にすると、元のメモリ帯域幅が最大4倍になります。

4チャンネルメモリ用アーキテクチャー

- ▶▶ チャンネル A:DDR5_A1
- ▶▶ チャンネル B:DDR5_B1
- ▶▶ チャンネル E:DDR5_E1
- ▶▶ チャンネル F:DDR5_F1



2-5 拡張カードを取り付ける

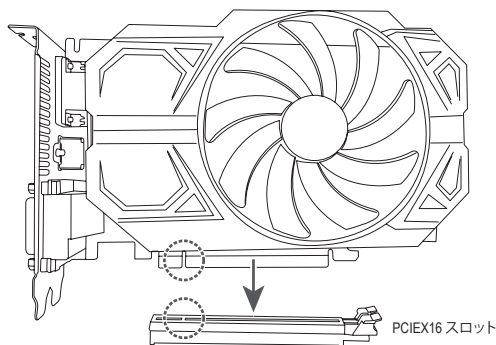


拡張カードを取り付ける前に次のガイドラインをお読みください：

- 拡張カードがマザーボードをサポートしていることを確認してください。拡張カードに付属するマニュアルをよくお読みください。
- ハードウェアが損傷する原因となるため、拡張カードを取り付ける前に必ずコンピュータの電源をオフにし、コンセントから電源コードを抜いてください。

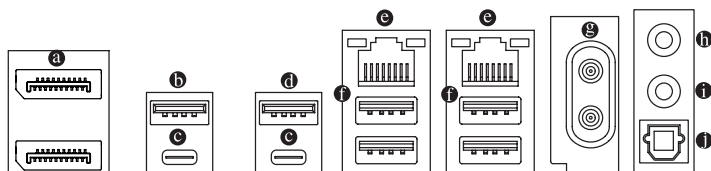
以下のステップに従って、拡張カードを拡張スロットに正しく取り付けてください。

1. カードをサポートする拡張スロットを探します。PCケース背面パネルから、金属製スロットカバーを取り外します。
2. カードをスロットに合わせ、スロットに完全にはまりこむまでカードを押し下げます。
3. 拡張カードが、スロットに完全に装着されたことを確認してください。
4. カードの金属ブラケットをねじでPCケース背面パネルに固定します。
5. 拡張カードをすべて取り付けたら、PCケースカバーを元に戻します。
6. コンピュータの電源をオンにします。必要に応じて、BIOSセットアップに移動し拡張カードに必要なBIOS変更を行います。
7. 拡張カードに付属するドライバをオペレーティングシステムにインストールします。



☞ PCIe EZ-Latch Plus の使用に関する詳細は、GIGABYTE ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.gigabyte.com/WebPage/922/removePCIe.html>

2-6 背面パネルのコネクター



④ DisplayPort インポート

DisplayPortインポートは、マザーボードへのDisplayPort入力で使用します。詳しくは、以下のThunderbolt™ 4ポート項目をご参照ください。

② USB 3.2 Gen 2 Type-A ポート (赤) (Q-Flash Plus ポート)

USB 3.2 Gen 2 ポートは USB 3.2 Gen 2 仕様をサポートし、USB 3.2 Gen 1 および USB 2.0 仕様と互換性があります。このポートを USB デバイス用に使用します。Q-Flash Plus^(注) を使用する前に、このポートに USB フラッシュメモリを挿入してください。

③ Thunderbolt™ 4 コネクター (USB4® USB Type-C® ポート)

このポートはDisplayPort および Thunderbolt™ ディスプレイ出力に対応しています。アダプタケーブル経由で、DisplayPort/Thunderbolt™ディスプレイを接続することが可能です。DisplayPort モニターを接続する場合、実際にサポートされる解像度は、外付けグラフィックスカードや使用するモニターによって異なります。また、コネクタはリバーシブルで、USB4® 仕様に対応し、USB 3.2 Gen 2、USB 3.2 Gen 1、USB 2.0 仕様と互換性があります。このポートを USB デバイス用に使用します。

DisplayPort または Thunderbolt™ 機器を接続するには、以下の手順で行ってください。

ステップ 1:

付属の DisplayPort 入力ケーブルでグラフィックスカードと DisplayPort インポートを接続してください。

ステップ 2:

DisplayPort または Thunderbolt™ 機器を Thunderbolt™ 4 コネクターに接続してください。



DisplayPort または Thunderbolt™ ディスプレイを使用する場合にて、DisplayPort ケーブルを上部 DisplayPort 入力ポートに接続する場合、ケーブルを最初の Thunderbolt™ 4 コネクター (DisplayPort In 端子に近い方) に接続する必要があります。また、DisplayPort ケーブルを下部の DisplayPort 入力ポートに接続する場合は、ディスプレイのケーブルを2番目の Thunderbolt™ 4 コネクター (RJ-45 LANポートに近い方) に接続する必要があります。

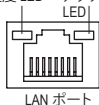
① USB 3.2 Gen 2 Type-A ポート (赤)

USB 3.2 Gen 2 ポートは USB 3.2 Gen 2 仕様をサポートし、USB 3.2 Gen 1 および USB 2.0 仕様と互換性があります。このポートを USB デバイス用に使用します。

⑧ RJ-45 LAN ポート

Gigabit イーサネット LAN ポートは、最大 10 GB のデータ転送速度のインターネット接続を提供します。以下は、LAN ポート LED の状態を表します。

速度 LED アクティビティ 速度 LED:



LAN ポート

| 状態 | 説明 |
|------|-----------------------------------|
| オレンジ | 10 Gbps のデータ転送速度 |
| 緑 | 5 Gbps/ 2.5 Gbps/ 1 Gbps のデータ転送速度 |
| オフ | 100 Mbps のデータ転送速度 |

アクティビティ LED:

| 状態 | 説明 |
|----|---------------|
| 点滅 | データの送受信中です |
| オン | データを送受信していません |

(注) Q-Flash Plus機能を使用するには、GIGABYTE ウェブサイトの「独自機能」のページをご参照ください。

⑩ USB 3.2 Gen 1 ポート

USB 3.2 Gen 1 ポートは USB 3.2 Gen 1 仕様をサポートし、USB 2.0 仕様と互換性があります。このポートを USB デバイス用に使用します。

⑪ アンテナコネクタ (2T2R)

このコネクタを用いてアンテナを接続します。



アンテナをアンテナコネクタに締めてから、アンテナを正しく向けて、信号の受信を改善します。

⑫ Line Out

ラインアウト端子です。より良い音質をご使用いただく場合、このジャックにヘッドフォン/スピーカーに接続することを推奨します。(実際の効果は、使用されているデバイスによって異なる場合があります)。

⑬ マイクイン

マイクイン端子です。マイク入力端子は、モノラルマイクにのみ対応しています。

⑭ 光学 S/PDIF 出力コネクタ

このコネクタにより、デジタル光学オーディオをサポートする外部オーディオシステムでデジタルオーディオアウトを利用できます。この機能を使用する前に、オーディオシステムに光学デジタルオーディオインコネクタが装備されていることを確認してください。

オーディオジャック設定:

| ジャック | ヘッドフォン/ 2チャンネル | 4チャンネル | 5.1チャンネル | 7.1チャンネル |
|--|-------------------|--------|----------|----------|
| ⑫ ラインアウト/フロントスピーカーアウト | | ✓ | ✓ | ✓ |
| ⑬ マイクイン/リアスピーカーアウト | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| フロントパネルラインアウト/ サイドスピーカーアウト | | | ✓ | ✓ |
| フロントパネルマイクイン/ センター/サブウーファース スピーカーアウト | | | | ✓ |



オーディオのソフトウェアを使用して、オーディオジャックの機能を変更できません。7.1チャンネルオーディオを設定するには、オーディオソフトウェアにて、オーディオの設定を行ってください。



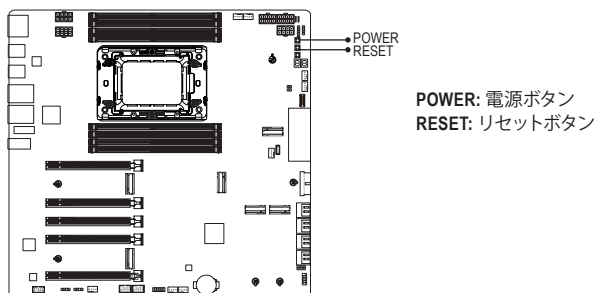
- 背面パネルコネクタに接続されたケーブルを取り外す際は、先に周辺機器からケーブルを取り外し、次にマザーボードからケーブルを取り外します。
- ケーブルを取り外す際は、コネクタから真っ直ぐに引き抜いてください。ケーブルコネクタ内部でショートする原因となるので、横に揺り動かさないでください。

⇒ オーディオソフトウェアの詳細設定については、GIGABYTEのWebサイトをご覧ください。
<https://www.gigabyte.com/WebPage/697/realtek897-audio.html>

2-7 オンボードボタンおよびLED

クイックボタン

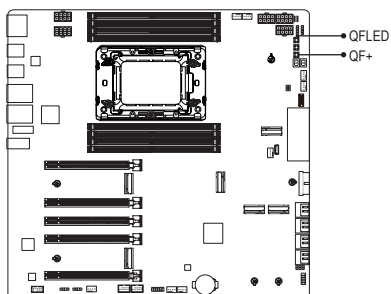
このマザーボードには、電源ボタン、リセットボタンの2つのクイックボタンが付いています。電源ボタンとリセットボタンでは、ハードウェアコンポーネントを変更したりハードウェアテストを実行するとき、ケースを開いた環境下でコンピュータのオン/オフまたはリセットを素早く行うことができます。



リセットボタンは、いくつかの機能を切り替えて使用することができます。別のタスクを実行するためにボタンをリマップするには、詳細については、GIGABYTE ウェブサイトの「BIOSセットアップ」ページに移動し、「RST (MULTIKEY)」を検索してご参照ください。

QF+(Q-Flash Plus ボタン)

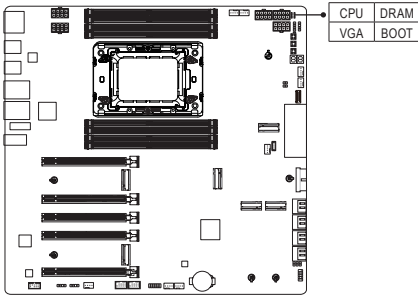
Q-Flash Plus では、システムの電源が切れているとき (S5シャットダウン状態) に BIOS を更新することができます。最新の BIOS を USB メモリに保存して専用ポートに接続すると、Q-Flash Plus ボタンを押すだけで自動的に BIOS を更新できます。QFLED は、BIOS のマッチングおよび更新作業が開始されると点滅し、メイン BIOS の書換が完了すると点滅を停止します。



Q-Flash Plus機能を使用するには、GIGABYTE ウェブサイトの「独自機能」のページをご参照ください。

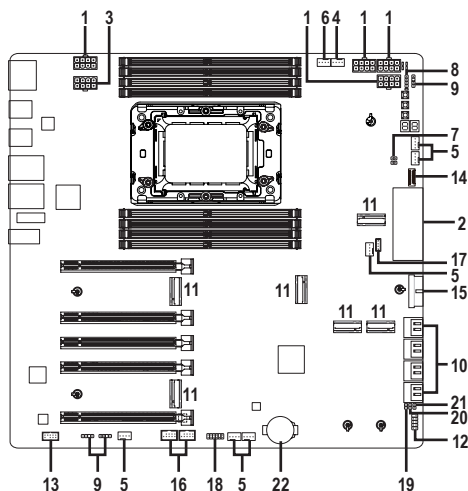
ステータスLED

ステータスLEDは、システムの電源投入後にCPU、メモリ、グラフィックスカード、およびオペレーティングシステムが正常に動作状態を表示します。CPU / DRAM / VGA LEDが点灯している場合は、対応するデバイスが正常に動作していないことを意味します。BOOT LEDが点灯している場合、オペレーティングシステムを読み込んでいないことを意味します。



CPU : CPUステータスLED
DRAM : メモリ・ステータスLED
VGA : グラフィックスカード・ステータスLED
BOOT : オペレーティングシステムステータスLED

2-8 内部コネクター



| | |
|---|-------------------|
| 1) ATX_12V_1/2/3/4 | 12) F_PANEL |
| 2) ATX1 | 13) F_AUDIO |
| 3) PCIE_12V1 | 14) FU3C_20G |
| 4) CPU_FAN | 15) FU3A_5G_1 |
| 5) SYS_FAN1/2/3/4/5/6 | 16) FUSB_1/FUSB_2 |
| 6) CPU_OPT | 17) VROC |
| 7) EC_TEMP1/EC_TEMP2 | 18) SPI_TPM |
| 8) LED_C | 19) SPEAKER |
| 9) ARGB_V2_1/ARGB_V2_2/ARGB_V2_3 | 20) CLR_CMOS |
| 10) SATA3 0/1/2/3/4/5/6/7 | 21) RST |
| 11) M2A_CPU/M2B_CPU/M2C_CPU/ M2D_CPU/M2E_SB/M2F_SB | 22) BAT |



外部デバイスを接続する前に、以下のガイドラインをお読みください：

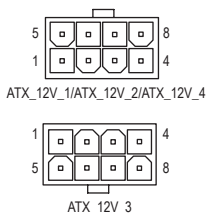
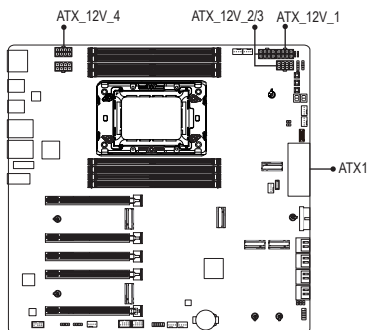
- まず、デバイスが接続するコネクターに準拠していることを確認します。
- デバイスを取り付ける前に、デバイスとコンピュータのパワーがオフになっていることを確認します。デバイスが損傷しないように、コンセントから電源コードを抜きます。
- デバイスを装着した後、コンピュータのパワーをオンにする前に、デバイスのケーブルがマザーボードのコネクターにしっかり接続されていることを確認します。

1/2) ATX_12V_1/2/3/4(ATX1 (2x4 12V 電源コネクタと 2x12 メイン電源コネクタ)

電源コネクタを使用すると、電源装置はマザーボードのすべてのコンポーネントに安定した電力を供給することができます。電源コネクタを接続する前に、まず電源装置の電源がオフになっていること、すべてのデバイスが正しく取り付けられていることを確認してください。電源コネクタは、正しい向きでしか取り付けができないように設計されています。電源装置のケーブルを正しい方向で電源コネクタに接続します。12V 電源コネクタは、主に CPU に電力を供給します。12V 電源コネクタが接続されていない場合、コンピュータは起動しません。電源コネクタの接続については、PCIe 電源コネクタの説明書を参照してください。



拡張要件を満たすため、グラフィックスカードを1枚取り付ける場合は1200W以上の電源を使用することをお勧めします。2枚以上のグラフィックスカードを取り付ける場合は、十分な電力を供給するために1600W以上の電源を使用することをお勧めします。必要な電力が供給されない電源を使用すると、システムが不安定になったり、起動できなくなったりすることがあります。

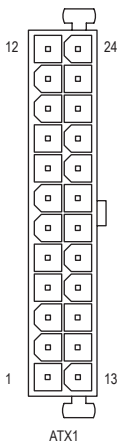


ATX_12V_1/2/3/4:

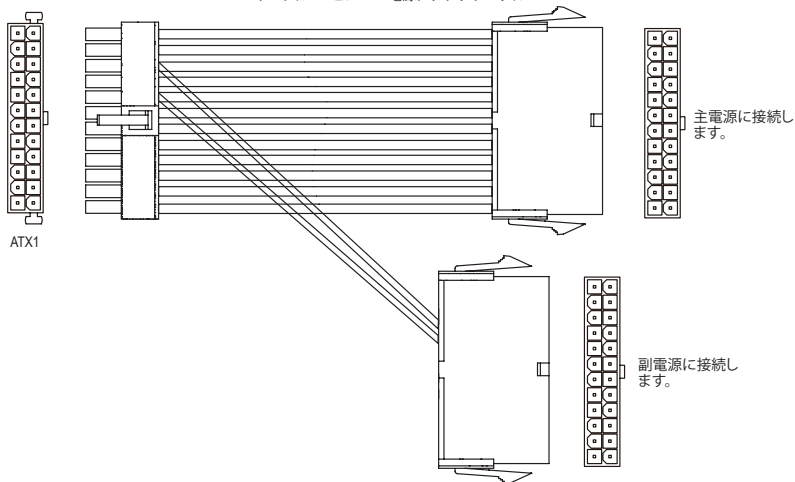
| ピン番号 | 定義 | ピン番号 | 定義 |
|------|------------------|------|-------------------|
| 1 | GND (2x4ピン12Vのみ) | 5 | +12V (2x4ピン12Vのみ) |
| 2 | GND (2x4ピン12Vのみ) | 6 | +12V (2x4ピン12Vのみ) |
| 3 | GND | 7 | +12V |
| 4 | GND | 8 | +12V |

ATX1:

| ピン番号 | 定義 | ピン番号 | 定義 |
|------|--------------------------|------|----------------------|
| 1 | 3.3V | 13 | 3.3V |
| 2 | 3.3V | 14 | -12V |
| 3 | GND | 15 | GND |
| 4 | +5V | 16 | PS_ON(ソフト オン/オフ) |
| 5 | GND | 17 | GND |
| 6 | +5V | 18 | GND |
| 7 | GND | 19 | GND |
| 8 | 電源良好 | 20 | NC |
| 9 | 5VSB (スタンバイ +5V) | 21 | +5V |
| 10 | +12V | 22 | +5V |
| 11 | +12V (2x12 ピン ATX 専用) | 23 | +5V (2x12 ピン ATX 専用) |
| 12 | 3.3V (2x12 ピン ATX 専用) | 24 | GND (2x12 ピン ATX 専用) |



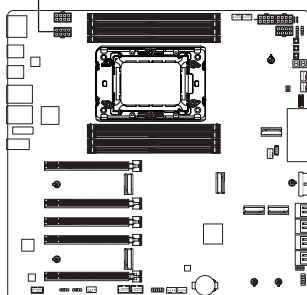
デュアル 24 ピン ATX 電源アダプターケーブル



3) PCIE_12V1 (PCIe電源コネクター)

電源コネクタはCPUに追加の電力を供給できます。電源からのATX 12V CPU 電源ケーブルが不十分な場合は、電源からの PCIe 電源コネクタをこのコネクタに接続できます。さらに十分な電力が必要な場合は、すべての ATX 12V コネクタを接続することもできます。

PCIE_12V1



| ピン番号 | 定義 | ピン番号 | 定義 |
|------|------|------|-----|
| 1 | +12V | 5 | GND |
| 2 | +12V | 6 | GND |
| 3 | +12V | 7 | GND |
| 4 | GND | 8 | GND |

* 電源コネクターの構成:

| | ATX | ATX_12V_1 | ATX_12V_2 | ATX_12V_3 | ATX_12V_4 | PCIE_12V1 |
|---------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 電源装置 1つ | ✓ | ✓ | ✓ | -- | -- | ✓ |
| 電源装置 2つ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |

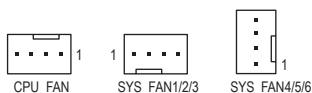
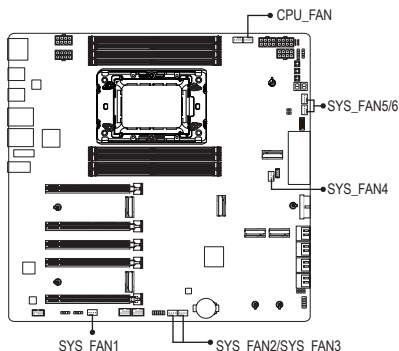
(「✓」=接続、「--」=未接続)



電源を2つ取り付ける場合は、同梱のデュアル24ピンATX電源アダプターケーブルをマザーボード上のATXコネクタに接続し、残りの2端を主電源と副電源に差し込んでください。両方の電源が同じメーカーと型番であることを確認してください。

4/5) CPU_FAN/SYS_FAN1/2/3/4/5/6 (ファンヘッダ)

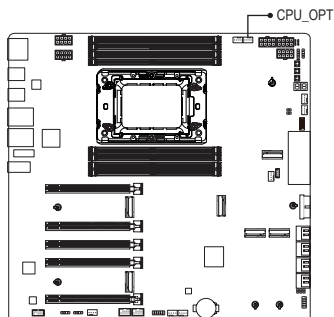
このマザーボードのファンヘッダはすべて4ピンです。ほとんどのファンヘッダは、誤挿入防止設計が施されています。ファンケーブルを接続するとき、正しい方向に接続してください(黒いコネクタワイヤはアース線です)。速度コントロール機能を有効にするには、ファン速度コントロール設計のファンを使用する必要があります。最適の放熱を実現するために、PCケース内部にシステムファンを取り付けることをお勧めします。



| ピン番号 | 定義 |
|------|---------|
| 1 | GND |
| 2 | 電圧速度制御 |
| 3 | 検知 |
| 4 | PWM速度制御 |

6) CPU_OPT (CPUファン/水冷ポンプ用ヘッダ)

ファン/水冷ポンプヘッダは4ピンで、簡単に接続できるように設計されています。ほとんどのファンヘッダは、誤挿入防止設計が施されています。ファンケーブルを接続するとき、正しい方向に接続してください(黒いコネクタワイヤはアース線です)。速度コントロール機能を有効にするには、ファン速度コントロール設計のファンを使用する必要があります。



| ピン番号 | 定義 |
|------|---------|
| 1 | GND |
| 2 | 電圧速度制御 |
| 3 | 検知 |
| 4 | PWM速度制御 |

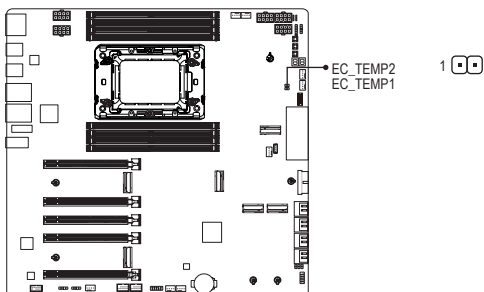
| コネクタ | CPU_FAN | SYS_FAN1-6 | CPU_OPT |
|------|---------|------------|---------|
| 最大電流 | 2A | 2A | 2A |
| 最大電力 | 24W | 24W | 24W |



- CPUとシステムを過熱から保護するために、ファンケーブルをファンヘッダに接続していることを確認してください。冷却不足はCPUが損傷したり、システムがハングアップする原因となります。
- これらのファンヘッダは設定ジャンパブロックではありません。ヘッダにジャンパキャップをかぶせないでください。

7) EC_TEMP1/EC_TEMP2 (温度センサー用ヘッダ)

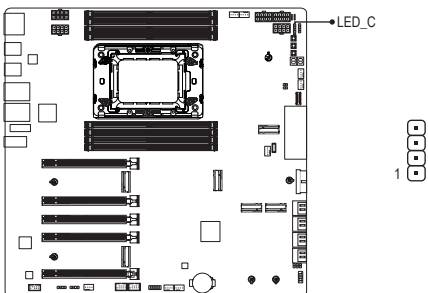
温度センサー用のヘッダにサーミスタケーブルを接続します。



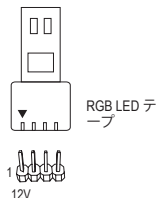
| ピン番号 | 定義 |
|------|-----------|
| 1 | SENSOR IN |
| 2 | GND |

8) LED_C (RGB LEDテープヘッダ)

このヘッダは、標準的なRGB LEDテープ (12V/G/R/B)を使用することができます。また、最大2メートルの長さのケーブルと最大電力2A (12V)までサポートしています。



| ピン番号 | 定義 |
|------|-----|
| 1 | 12V |
| 2 | G |
| 3 | R |
| 4 | B |



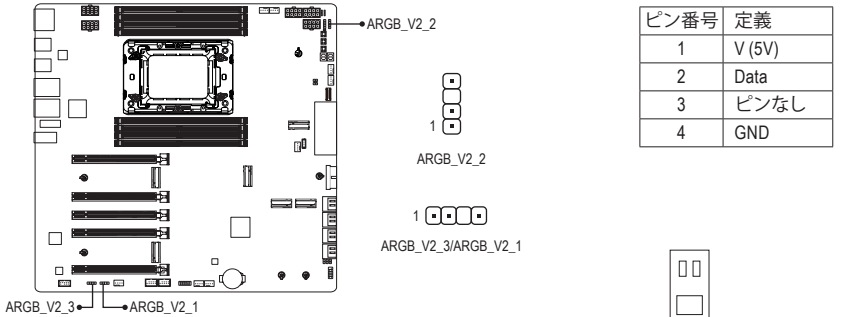
RGB LEDテープをヘッダに接続します。LEDテープの電源ピン (プラグの三角印)は、このヘッダのピン1 (12V)に接続する必要があります。誤って接続すると、LEDテープが損傷する可能性があります。



デバイスを取り付けまたは取り外す前に、デバイスとコンピュータのパワーがオフになっていることを確認します。デバイスが損傷しないように、コンセントから電源コードを抜きます。

9) ARGB_V2_1/ARGB_V2_2/ARGB_V2_3 (Addressable RGB Gen2 LEDテープ用ヘッダ)

ヘッダピンを使用して、最大定格電力3A (5V) およびLED最大256個の標準5050 addressable RGB Gen2 LEDテープを接続できます。



Addressable RGB Gen2 LEDテープをヘッダに接続します。LEDテープ側の電源ピン(プラグの三角印)をaddressable LEDテープヘッダのピン1に接続する必要があります。誤って接続すると、LEDテープが損傷する可能性があります。



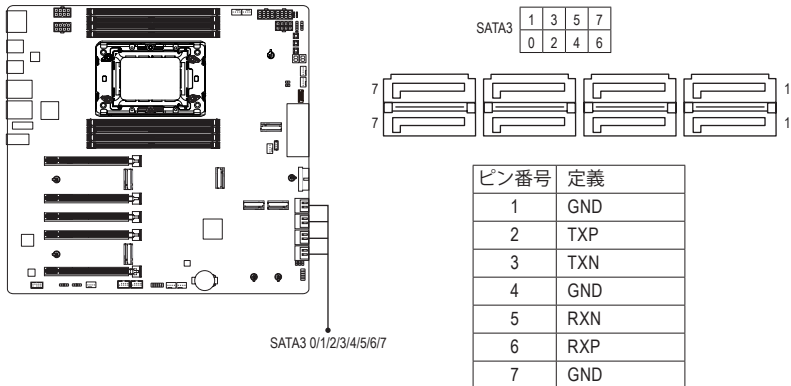
LEDテープの点灯/消灯方法については、GIGABYTEウェブサイトの「独自機能」のページをご参照ください。



- LEDの異常動作を避けるため、addressable RGB Gen1 LEDテープとaddressable RGB Gen2 LEDテープを同じヘッダに同時接続しないでください。
- デバイスを取り付けまたは取り外す前に、デバイスとコンピュータの電源がオフになっていることを確認します。デバイスが損傷しないように、コンセントから電源コードを抜きます。

10) SATA3 0/1/2/3/4/5/6/7 (SATA 6Gb/sコネクタ)

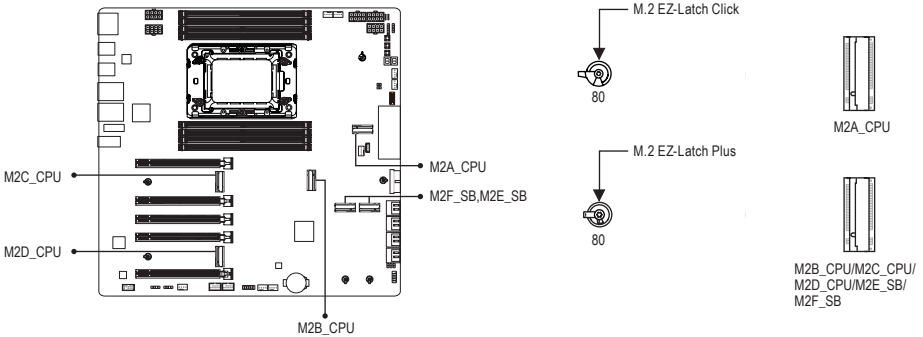
SATAコネクタはSATA 6Gb/sに準拠し、SATA 3Gb/sおよびSATA 1.5Gb/sとの互換性を有しています。それぞれのSATAコネクタは、単一のSATAデバイスをサポートします。SATAコネクタは、RAID 0、RAID 1、RAID 5、およびRAID 10をサポートします。RAIDアレイの設定については、GIGABYTEウェブサイトの「RAIDアレイ設定方法」のページをご参照ください。



SATAポートホットプラグを有効にするには、GIGABYTEウェブサイトの「BIOSセットアップ」ページに移動し、「SATA Configuration」を検索してご参照ください。

11) M2A_CPU/M2B_CPU/M2C_CPU/M2D_CPU/M2E_SB/M2F_SB (M.2 ソケット3 コネクタ)

M.2 SSD には、M.2 SATA SSD と M.2 PCIe SSD の2種類があります。このマザーボードは、M.2 PCIe SSD のみに対応しています。M.2のPCIe SSDはSATAドライブとのRAID構成を作成することができませんのでご注意ください。RAID アレイの設定については、GIGABYTE ウェブサイトの「RAID アレイ設定方法」のページをご参照ください。



*各 M.2 コネクタがサポートする M.2 SSD の種類:

| | M.2 PCIe x4 SSD | M.2 PCIe x2 SSD | M.2 SATA SSD |
|---------|-----------------|-----------------|--------------|
| M2A_CPU | ✓ | ✓ | ✗ |
| M2B_CPU | ✓ | ✓ | ✗ |
| M2C_CPU | ✓ | ✓ | ✗ |
| M2D_CPU | ✓ | ✓ | ✗ |
| M2E_SB | ✓ | ✓ | ✗ |
| M2F_SB | ✓ | ✓ | ✗ |

☞ M.2 EZ-Latch Click/M.2 EZ-Latch Plus の使用に関する詳細は、GIGABYTE ウェブサイトをご覧ください。

M.2 EZ-Latch Click を使用した M.2 SSD 取り付け: <https://www.gigabyte.com/WebPage/1048/M.2-EZ-Latch-Click.html>

M.2 EZ-Latch Plus を使用した M.2 SSD 取り付け: <https://www.gigabyte.com/WebPage/920/M2-latchplus.html>

M.2 EZ-Latch Plus を使用した M.2 SSD 取り外し: <https://www.gigabyte.com/WebPage/921/removeM2.html>

* マザーボードのヒートシンクのデザインは、モデルによって異なる場合があります。

M.2コネクタにM.2対応SSDに増設する場合、以下の手順に従ってください。

• **M2A_CPU:**

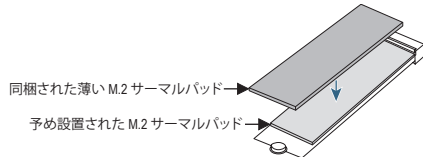
(ヒートシンク付きの M.2 SSD を M2A_CPU コネクタに取り付けないでください。)

☞ **片面 M.2 サーマルパッドの取り付け:**

ステップ 1: M.2 EZ-Latch Click クリップを時計回りに回し、マザーボードのヒートシンクを取り外します。

ステップ 2: M.2 コネクタにあらかじめ取り付けられているサーマルパッドの保護フィルムを剥がします。同梱の薄型サーマルパッドを既存のサーマルパッドに取り付け、M.2 SSD を斜めにしてコネクタに挿入します。

ステップ 3: M.2 SSD の前側を押し下げ、クリップで M.2 SSD が固定されていることを確認します。マザーボードヒートシンク底面の保護フィルムを剥がしてから、最後に、M.2 EZ-Latch Click クリップを時計回りに回し、ヒートシンクを元の位置に取り付けます。



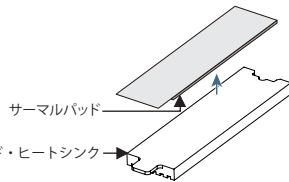
☞ **両面の厚い M.2 サーマルパッドの取り付け:**

ステップ 1: M.2 EZ-Latch Click クリップを時計回りに回し、マザーボードのヒートシンクを取り外します。

ステップ 2: マザーボードのヒートシンク下部からサーマルパッドを取り外し、同梱の薄型 M.2 サーマルパッドと交換します。

ステップ 3: M.2コネクタのサーマルパッドから保護フィルムを取り外します。コネクタに斜めの角度で M.2対応SSDをスライドさせます。

ステップ 4: M.2 SSD の前側を押し下げ、クリップで M.2 SSD が固定されていることを確認します。マザーボードヒートシンク底面の保護フィルムを剥がしてから、最後に、M.2 EZ-Latch Click クリップを時計回りに回し、ヒートシンクを元の位置に取り付けます。



M.2コネクタにプリインストールされているサーマルパッドを交換する場合は、厚さ 1.25 mm のものを使用することをお勧めします。

- **M.2 サーマルパッドの取り付け (サーマルパッドが事前に取り付けられた M.2 コネクタ-にのみ適用されます):**

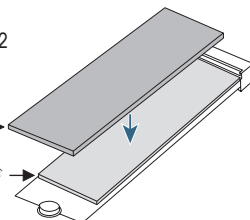
片面 M.2 SSD を使用する場合は、M.2 SSD を取り付ける前に、付属の M.2 サーマルパッドを M.2 コネクタ-に予め設置されているサーマルパッドに取り付けます。



両面 M.2 SSD を使用する場合は、同梱されている M.2 サーマルパッドを取り付けないでください。

同梱された M.2 サーマルパッド →

予め設置された M.2 サーマルパッド →



- **M2B_CPU/M2E_SB/M2F_SB:**

ステップ 1:

ドライバを使用してヒートシンクのネジを外し、ヒートシンクを先に取り外します。

ステップ 2:

M.2コネクタ-にサーマルパッドが付いている場合は、M.2 コネクタ-のサーマルパッドから保護フィルムを取り外します。コネクタ-に斜めの角度でM.2対応SSDをスライドさせます。M.2 SSD の前側を押し下げ、クリップで M.2 SSD が固定されていることを確認します。



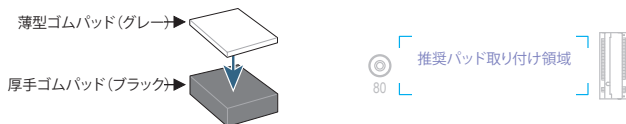
サーマルパッドを交換する場合は、厚さ1.25mmのものを使用することをお勧めいたします。


ステップ 3:

マザーボードヒートシンク底面の保護フィルムを剥がしてから、最後に、ヒートシンクを元の位置に取り付けます。

- **M.2 ゴムパッドの取り付け (サーマルパッドが事前に取り付けられていない M.2 コネクターにのみ適用):**

- a. 両面 M.2 SSD を使用する場合は、下図のように厚いゴムパッドを推奨配置場所に取り付けます。
- b. 片面 M.2 SSD を使用する場合は、まず薄いゴムパッドを厚いゴムパッドに貼り付け、次に下図のように推奨配置領域に取り付けます。



 ゴムパッドを取り付ける際は、マザーボード上のチップや IC コンポーネントに触れないようにしてください。

- **M2C_CPU/M2D_CPU:**

ステップ 1:

ドライバを使用してヒートシンクのネジを外し、ヒートシンクを先に取り外します。

ステップ 2:

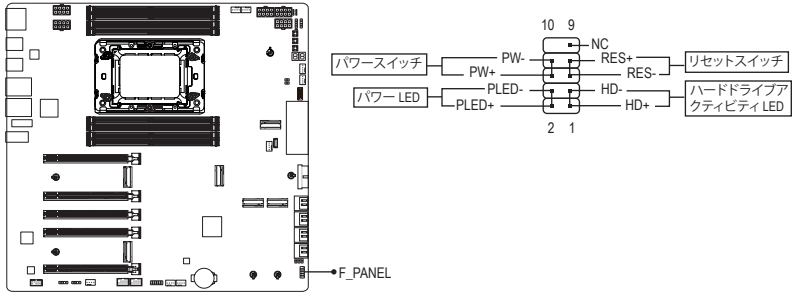
M.2コネクタにサーマルパッドが付いている場合は、M.2 コネクタのサーマルパッドから保護フィルムを取り外します。コネクタに斜めの角度でM.2対応SSDをスライドさせます。M.2 SSD の前側を押し下げ、クリップで M.2 SSD が固定されていることを確認します。

ステップ 3:

マザーボードヒートシンク底面の保護フィルムを剥がしてから、最後に、ヒートシンクを元の位置に取り付けます。

12) F. PANEL (前面パネルヘッダ)

電源スイッチ、リセットスイッチおよびシステム・ステータス・インジケータを下記のピン割り当てに従ってこのヘッダに接続します。接続する際には、+と-のピンに注意してください。



• PLED (電源LED):

| システムステータス | LED |
|-----------|-----|
| S0 | オン |
| S3/S4/S5 | オフ |

PCケース前面パネルの電源ステータスインジケータに接続します。システムが作動しているとき、LEDはオンになります。システムがS3/S4スリープ状態に入っているとき、またはパワーがオフになっているとき(S5)、LEDはオフになります。

• PW (パワースイッチ):

PCケース前面パネルの電源ステータスインジケータに接続します。パワースイッチを使用してシステムのパワーをオフにする方法を設定できます (詳細はGIGABYTE ウェブサイトの「BIOS セットアップ」ページに移動し、「Power」をご参照ください)。

• HD (ハードドライブアクティビティ LED):

PCケース前面パネルのハードドライブアクティビティ LED に接続します。ハードドライブがデータの読み書きを行っているとき、LEDはオンになります。

• RES (リセットスイッチ):

PCケース前面パネルのリセットスイッチに接続します。コンピュータがフリーズし通常の再起動を実行できない場合、リセットスイッチを押してコンピュータを再起動します。

• NC:

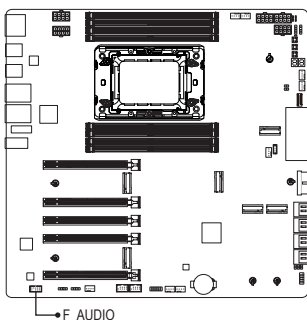
接続なし。



前面パネルのデザインは、ケースによって異なります。前面パネルモジュールは、パワースイッチ、リセットスイッチ、電源LED、ハードドライブアクティビティLEDなどで構成されています。ケース前面パネルモジュールをこのヘッダに接続しているとき、ワイヤ割り当てとピン割り当てが正しく一致していることを確認してください。

13) F_AUDIO (前面パネルオーディオヘッダ)

フロントパネルオーディオヘッダは、High Definition audio (HD)をサポートします。PCケース前面パネルのオーディオモジュールをこのヘッダに接続することができます。モジュールコネクタのワイヤ割り当てが、マザーボードヘッダのピン割り当てに一致していることを確認してください。モジュールコネクタとマザーボードヘッダ間の接続が間違っていると、デバイスは作動せず損傷することがあります。



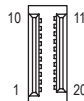
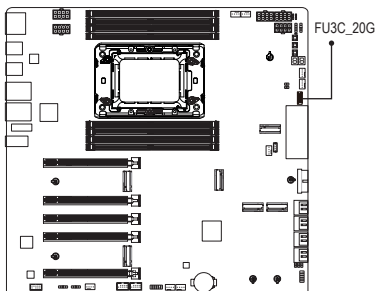
| ピン番号 | 定義 |
|------|----------------------|
| 1 | MIC L |
| 2 | GND |
| 3 | MIC R |
| 4 | NC |
| 5 | Head Phone R |
| 6 | MIC Detection |
| 7 | SENSE_SEND |
| 8 | ピンなし |
| 9 | Head Phone L |
| 10 | Head Phone Detection |



PCケースの中には、前面パネルのオーディオモジュールを組み込んで、単一コネクタの代わりに各ワイヤのコネクタを分離しているものもあります。ワイヤ割り当てが異なっている前面パネルのオーディオモジュールの接続方法の詳細については、PCケースメーカーにお問い合わせください。

14) FU3C_20G (USB 3.2 Gen 2x2 に対応する USB Type-C®ヘッダ)

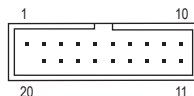
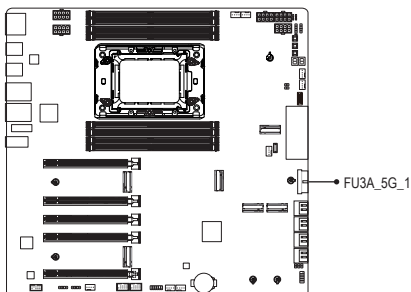
このヘッダは、USB 3.2 Gen 2x2仕様に準拠し、1つのUSBポート使用できます。



| ピン番号 | 定義 | ピン番号 | 定義 |
|------|------|------|------|
| 1 | VBUS | 11 | VBUS |
| 2 | TX1+ | 12 | TX2+ |
| 3 | TX1- | 13 | TX2- |
| 4 | GND | 14 | GND |
| 5 | RX1+ | 15 | RX2+ |
| 6 | RX1- | 16 | RX2- |
| 7 | VBUS | 17 | GND |
| 8 | CC1 | 18 | D- |
| 9 | SBU1 | 19 | D+ |
| 10 | SBU2 | 20 | CC2 |

15) FU3A_5G_1 (USB 3.2 Gen 1 ヘッダ)

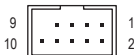
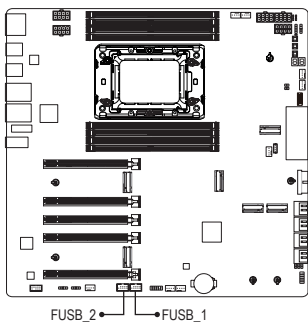
ヘッダはUSB 3.2 Gen 1およびUSB 2.0仕様に準拠し、2つのUSBポートが装備されています。USB 3.2 Gen 1対応 2ポートを装備するオプションの3.5"フロントパネルのご購入については、販売店にお問い合わせください。



| ピン番号 | 定義 | ピン番号 | 定義 |
|------|--------|------|--------|
| 1 | VBUS | 11 | D2+ |
| 2 | SSRX1- | 12 | D2- |
| 3 | SSRX1+ | 13 | GND |
| 4 | GND | 14 | SSTX2+ |
| 5 | SSTX1- | 15 | SSTX2- |
| 6 | SSTX1+ | 16 | GND |
| 7 | GND | 17 | SSRX2+ |
| 8 | D1- | 18 | SSRX2- |
| 9 | D1+ | 19 | VBUS |
| 10 | NC | 20 | ピンなし |

16) FUSB_1/FUSB_2 (USB 2.0/1.1 ヘッダ)

ヘッダはUSB 2.0/1.1仕様に準拠しています。各USBヘッダは、オプションのUSBブラケットを介して2つのUSBポートを提供できます。オプションのUSBブラケットを購入する場合は、販売店にお問い合わせください。



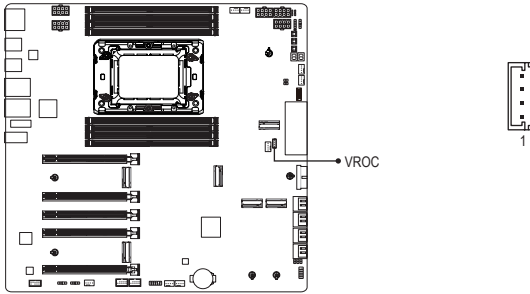
| ピン番号 | 定義 |
|------|---------|
| 1 | 電源 (5V) |
| 2 | 電源 (5V) |
| 3 | USB DX- |
| 4 | USB DY- |
| 5 | USB DX+ |
| 6 | USB DY+ |
| 7 | GND |
| 8 | GND |
| 9 | ピンなし |
| 10 | NC |



USBブラケットを取り付ける前に、USBブラケットが損傷しないように、コンピュータの電源をオフにしてからコンセントから電源コードを抜いてください。

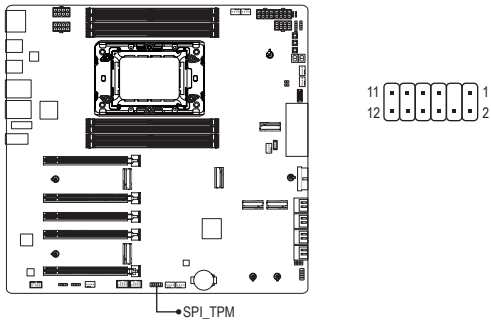
17) VROC (Intel® VROC Upgrade Key ヘッダ)

このヘッダは、Intel® VROC Upgrade Key の接続に使用できます。



18) SPI_TPM (TPMモジュール用ヘッダ)

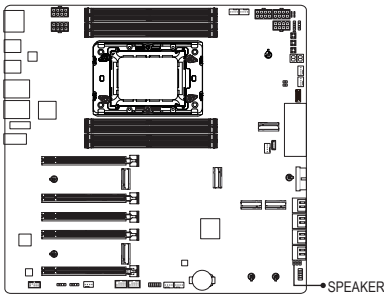
SPI TPM (TPMモジュール) をこのヘッダに接続できます。



| ピン番号 | 定義 |
|------|-----------|
| 1 | データ出力 |
| 2 | 電源 (3.3V) |
| 3 | ピンなし |
| 4 | NC |
| 5 | データ入力 |
| 6 | CLK |
| 7 | チップ選択 |
| 8 | GND |
| 9 | IRQ |
| 10 | NC |
| 11 | NC |
| 12 | RST |

19) SPEAKER (スピーカーヘッド)

PCケースの前面パネル用スピーカーに接続します。システムは、ビープコードを鳴らすことでシステムの起動ステータスを報告します。システム起動時に問題が検出されない場合、短いビープ音が1度鳴ります。

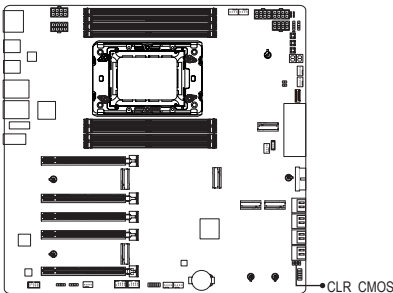


| ピン番号 | 定義 |
|------|-----|
| 1 | VCC |
| 2 | NC |



20) CLR_CMOS (CMOSクリアジャンパー)

このジャンパーを使用して BIOS 設定をクリアするとともに、CMOS 値を出荷時設定にリセットします。CMOS値を初期化するには、ドライバーのような金属製品を使用して2つのピンに数秒間触れます。



オープン：Normal



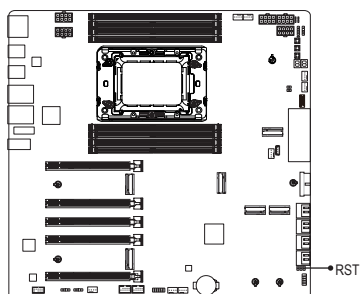
ショート：CMOSのクリア



- CMOS値を初期化する前に、常にコンピュータのパワーをオフにし、コンセントから電源コードを抜いてください。
- システムが再起動した後、BIOS設定を工場出荷時に設定するか、手動で設定してください (Load Optimized Defaults 選択) BIOS 設定を手動で設定します(詳細は GIGABYTE ウェブサイトの「BIOS セットアップ」ページをご参照ください)。

21) RST (リセットジャンパ)

PCケース前面パネルのリセットスイッチを、リセットジャンパに接続します。コンピュータがフリーズし通常の再起動を実行できない場合、リセットスイッチを押してコンピュータを再起動します。



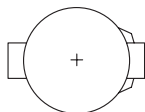
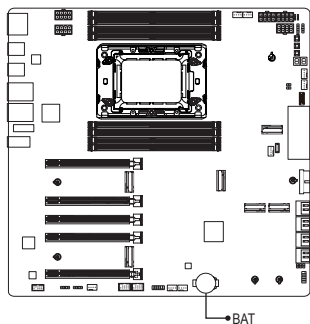
| ピン番号 | 定義 |
|------|------|
| 1 | リセット |
| 2 | GND |



リセットジャンパは、いくつかの機能を切り替えて使用することができます。別のタスクを実行するためにボタンをリマップするには、詳細については、GIGABYTE ウェブサイトの「BIOSセットアップ」ページに移動し、「RST (MULTIKEY)」を検索してください。

22) BAT (バッテリー)

バッテリーは、コンピュータがオフになっているとき CMOS の値 (BIOS 設定、日付、および時刻情報など) を維持するために、電力を提供します。バッテリーの電圧が低レベルまで下がったら、バッテリーを交換してください。CMOS 値が正確に表示されなかったり、失われる可能性があります。



バッテリーを取り外すと、CMOS 値を消去できます：

1. コンピュータの電源をオフにし、電源コードを抜きます。
2. バッテリーホルダからバッテリーをそと取り外し、1 分待ちます。(または、ドライバーのような金属物体を使用してバッテリーホルダの + と - の端子に触れ、5 秒間ショートさせます。)
3. バッテリーを交換します。
4. 電源コードを差し込み、コンピュータを再起動します。



- バッテリーを交換する前に、常にコンピュータの電源をオフにしてから電源コードを抜いてください。
- バッテリーを同等のバッテリーと交換します。誤ったバッテリーモデルに交換した場合、ご使用の機器が破損する場合がありますのでご注意ください。
- バッテリーを交換できない場合、またはバッテリーのモデルがはっきり分からない場合、購入店または販売店にお問い合わせください。
- バッテリーを取り付けるとき、バッテリーのプラス側 (+) とマイナス側 (-) の方向に注意してください (プラス側を上に向ける必要があります)。
- 使用済みのバッテリーは、地域の環境規制に従って処理してください。

第 3 章 BIOS セットアップ

BIOS (Basic Input and Output System) は、マザーボード上の CMOS にあるシステムのハードウェアのパラメータを記録します。主な機能には、システム起動、システムパラメータの保存、およびオペレーティングシステムの読み込みなどを行うパワー オンセルフ テスト (POST) の実行などがあります。BIOS には、ユーザーが基本システム構成設定の変更または特定のシステム機能の有効化を可能にする BIOS セットアッププログラムが含まれています。

電源をオフにすると、CMOS の設定値を維持するためマザーボードのバッテリーが CMOS に必要な電力を供給します。

BIOS セットアッププログラムにアクセスするには、電源オン時の POST 中に <Delete> キーを押します。

BIOS をアップグレードするには、GIGABYTE Q-Flash または Q-Flash Plus ユーティリティのいずれかを使用します。

- Q-Flash により、ユーザーはオペレーティング システムに入ることなく BIOS のアップグレードまたはバックアップを素早く簡単に行えます。
- Q-Flash Plus では、システムの電源が切れているとき (S5シャットダウン状態) に BIOS を更新することができます。最新の BIOS を USB メモリに保存して専用ポートに接続すると、Q-Flash Plus ボタンを押すだけで自動的に BIOS を更新できます。

Q-Flash および Q-Flash Plus ユーティリティの使用に関する使用説明については、GIGABYTE のウェブサイトの「独自機能」ページに移動し、「BIOS Update Utilities」を検索してご参照ください。



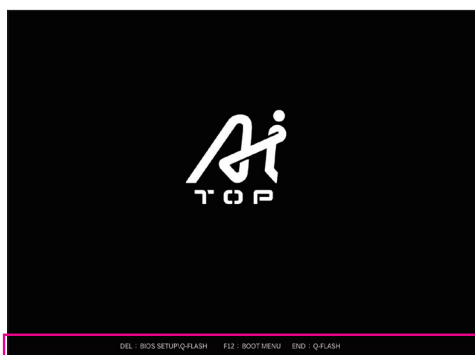
- BIOS の更新は潜在的に危険を伴うため、BIOS の現在のバージョンを使用しているときに問題が発生していない場合、BIOS を更新しないことをお勧めします。BIOS の更新は注意して行ってください。BIOS の不適切な更新は、システムの誤動作の原因となります。
- システムの不安定またはその他の予期しない結果を防ぐために、初期設定を変更しないことをお勧めします (必要な場合を除く)。誤った BIOS 設定しますと、システムは起動できません。そのようなことが発生した場合は、CMOS 値を既定値にリセットしてみてください。
- CMOS クリアする方法については、第 2 章のバッテリー/CMOS クリアジャンパ概要を参照して、または GIGABYTE ウェブサイトの「BIOS セットアップ」ページにアクセスし、「Load Optimized Defaults」で CMOS 値をクリアする方法を検索してご参照ください。

☞ BIOS セットアップの詳細設定については、GIGABYTE の Web サイトをご覧ください。

<https://www.gigabyte.com/WebPage/1103/w790-bios.html>

起動画面：

コンピュータが起動するとき、次の起動ロゴ画面が表示されます。



機能キー

機能キー：

: BIOS SETUP\Q-FLASH

<Delete>キーを押してBIOSセットアップに入り、BIOSセットアップでQ-Flashユーティリティにアクセスします。

<F12>: BOOT MENU

起動メニューにより、BIOS セットアップに入ることなく第 1 起動デバイスを設定できます。起動メニューで、上矢印キー <↑> または下矢印キー <↓> を用いて第 1 起動デバイスを選択し、次に <Enter> キーを押して確定します。システムはそのデバイスから起動します。

注：起動メニューの設定は1回のみ有効です。システム再起動後のデバイスの起動順序はBIOS セットアップの設定の順序となります。

<END>: Q-FLASH

<End> キーを押すと、先に BIOS セットアップに入る必要なく直接 Q-Flash Utility にアクセスします。

第4章 オペレーティングシステムとドライバをインストールする

4-1 オペレーティングシステムのインストール

BIOS設定が正しければ、オペレーティングシステムをいつでもインストールできます。

RAID ボリュームにOSをインストールする場合は、OS インストール時にまずラーのドライバをインストールする必要があります。以下のステップを参照してください。

ステップ 1:

GIGABYTEのウェブサイトアクセスし、マザーボード型番の製品ウェブページを参照し、**Support Download\SATA RAID/AHCI** ページ欄から**Intel SATA Preinstall driver** ファイルをダウンロードし、ファイルを解凍してUSBメモリにコピーしてください。

ステップ 2:

Windows セットアップディスクからブートし、標準のOS インストールステップを実施します。画面でドライバを読み込んでくださいという画面が表示されたら、**Browse**を選択します。

ステップ 3:

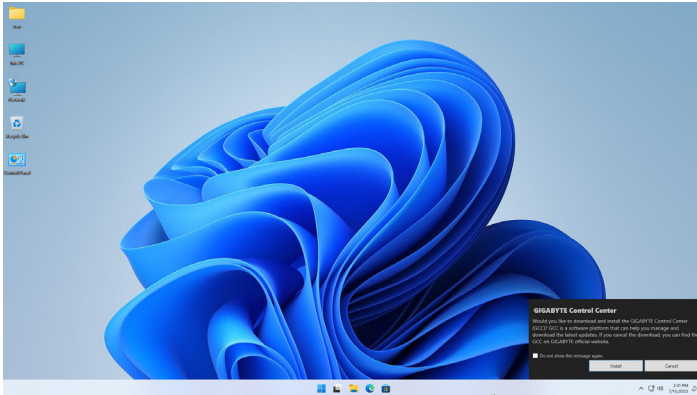
USBメモリを挿入し、ドライバの場所を参照してください。使用しているストレージデバイスに応じてドライバーを選択します。

- ① NVMe SSD RAID ドライブの場合は「Intel(R) Volume Management Device NVMe RAID コントローラー」を選択します。
 - ② SATA RAID ドライブの場合は「Intel(R) VROC SATA コントローラー」を選択します。
- その後、OSのインストールを続けてください。

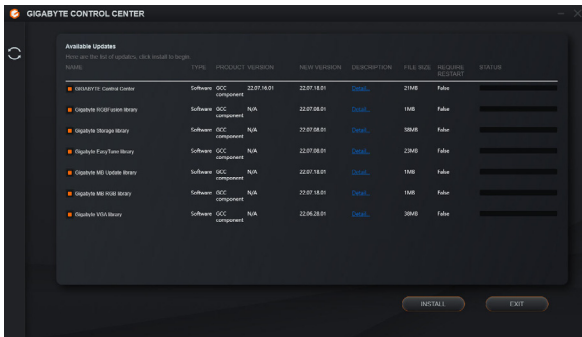
* RAIDボリュームがすぐに表示されない場合は、Refresh (更新) をクリックしてシステムの RAID ボリュームを再スキャンしてください。

4-2 ドライバのインストール

オペレーティング・システムをインストールした後、GIGABYTE Control Center (GCC) 経由でドライバとGIGABYTEアプリケーションをダウンロードしてインストールするかどうかを尋ねる、ダイアログボックスがデスクトップの右下隅に表示されます。**Install**をクリックしてインストールを続行します。(BIOS設定画面で、**Peripherals****Gigabyte Utilities Downloader Configuration****Gigabyte Utilities Downloader**が**有効**に設定されていることを確認してください。)



EULA(End User License Agreement (使用許諾契約書))ダイアログボックスが表示されたら、<Accept (同意する)>を押してGIGABYTE Control Center (GCC)をインストールします。GIGABYTE CONTROL CENTER 画面で、インストールしたいドライバとアプリケーションを選択して **Install** をクリックしてください。



インストールの前に、システムがインターネットに接続されていることを確認してください。

- ソフトウェアについては、GIGABYTEのウェブサイトへアクセスしてください。
<https://www.gigabyte.com/WebPage/1089/intel800-app.html>
- トラブルシューティング情報については、GIGABYTEのウェブサイトへアクセスしてください。
<https://www.gigabyte.com/WebPage/351/faq.html>

第 5 章 RAID セットを設定する

5-1 RAID セットを設定する

RAIDレベル

| | RAID 0 | RAID 1 | RAID 5 | RAID 10 |
|-------------|------------------------|------------|------------------------------|------------------------------|
| ハードドライブの最小数 | ≥2 | 2 | ≥3 | 4 |
| アレイ容量 | ハードドライブの数 * 最小ドライブのサイズ | 最小ドライブのサイズ | (ハードドライブの数 - 1) * 最小ドライブのサイズ | (ハードドライブの数 / 2) * 最小ドライブのサイズ |
| 耐故障性 | いいえ | はい | はい | はい |

始める前に、以下のアイテムを用意してください：

このマザーボードは、RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10 に対応しています。RAID アレイを構成する前に、上の表に示されているように正しい数のハードドライブを準備してください。

- SATA ハードドライブまたはSSDs。最適のパフォーマンスを発揮するために、同じモデルと容量のハードドライブを 2 台使用することをお勧めします。
- Windows セットアップディスク。
- インターネットに接続されたコンピュータ。
- USB メモリドライブ。



M.2 PCIe SSD を SATA ハードドライブとの RAID アレイを構築するために使用することはできません。

☞ RAIDアレイの構成の詳細については、GIGABYTEのWebサイトをご覧ください。

<https://www.gigabyte.com/WebPage/1102/w790-raid.html>

5-2 LEDのデバッグコードについて

通常起動

| コード | 説明 |
|-------|--|
| 10 | PEI コアが開始されます。 |
| 11 | プレメモリ CPU の初期化が開始されます。 |
| 12~14 | 予約済みです。 |
| 15 | プレメモリノースブリッジの初期化が開始されます。 |
| 16~18 | 予約済みです。 |
| 19 | プレメモリサウスブリッジの初期化が開始されます。 |
| 1A~2A | 予約済みです。 |
| 2B~2F | メモリーの初期化。 |
| 31 | メモリがインストールされています。 |
| 32~36 | CPU PEI の初期化。 |
| 37~3A | IOH PEI の初期化。 |
| 3B~3E | PCH PEI の初期化。 |
| 3F~4F | 予約済みです。 |
| 60 | DXE コアが開始されます。 |
| 61 | NVRAM の初期化。 |
| 62 | PCH ランタイムサービスのインストール。 |
| 63~67 | CPU DXE の初期化が開始されます。 |
| 68 | PCI ホストブリッジの初期化が開始されます。 |
| 69 | IOH DXE の初期化。 |
| 6A | IOH SMM の初期化。 |
| 6B~6F | 予約済みです。 |
| 70 | PCH DXE の初期化。 |
| 71 | PCH SMM の初期化。 |
| 72 | PCH devices の初期化。 |
| 73~77 | PCH DXE の初期化 (PCH モジュール固有)。 |
| 78 | ACPI Core の初期化。 |
| 79 | CSM の初期化が開始されます。 |
| 7A~7F | AMI で使用するために予約済みです。 |
| 80~8F | OEM を使用する (OEM DXE の初期化コード)のために予約済みです。 |
| 90 | DXE から BDS (ブートデバイス選択)へ位相を移行します。 |
| 91 | ドライバを接続するためにイベントを発行します。 |

| コード | 説明 |
|-------|---|
| 92 | PCI バスの初期化が開始されます。 |
| 93 | PCI バスのホットプラグの初期化。 |
| 94 | 要求されたリソース数を検出するための PCI バスの列挙値。 |
| 95 | PCI デバイスの要求されたリソースを確認します。 |
| 96 | PCI デバイスのリソースを割り当てます。 |
| 97 | コンソール出力デバイス(例 モニターが点灯)が接続されました。 |
| 98 | コンソール入力デバイス(例 PS2/USB キーボード/マウスがアクティブ化される)が接続されました。 |
| 99 | スーパー I/O の初期化。 |
| 9A | USB の初期化が開始されます。 |
| 9B | USB の初期化プロセス中にリセットを発行します。 |
| 9C | 現在接続中のすべての USB デバイスを検出してインストールします。 |
| 9D | 現在接続中のすべての USB デバイスをアクティブ化します。 |
| 9E~9F | 予約済みです。 |
| A0 | IDE の初期化が開始されます。 |
| A1 | IDE の初期化プロセス中にリセットを発行します。 |
| A2 | 現在接続中のすべての IDE デバイスを検出してインストールします。 |
| A3 | 現在接続中のすべての IDE デバイスをアクティブ化します。 |
| A4 | SCSI の初期化が開始されます。 |
| A5 | SCSI の初期化プロセス中にリセットを発行します。 |
| A6 | 現在接続中のすべての SCSI デバイスを検出してインストールします。 |
| A7 | 現在接続中のすべての SCSI デバイスをアクティブ化します。 |
| A8 | 必要に応じてパスワードを確認します。 |
| A9 | BIOS セットアップが開始されます。 |
| AA | 予約済みです。 |
| AB | BIOS セットアップ中にユーザーコマンドを待ちます。 |
| AC | 予約済みです。 |
| AD | OS ブート用のイベントを起動するレディーを発行します。 |
| AE | レガシー OS を起動します。 |
| AF | ブートサービスを終了します。 |
| B0 | ランタイム AP インストールが開始されます。 |
| B1 | ランタイム AP インストールが終了します。 |
| B2 | レガシーオプション ROM の初期化。 |
| B3 | 必要に応じて、システムをリセットします。 |

| コード | 説明 |
|-------|----------------------|
| B4 | USB デバイスのホットプラグインです。 |
| B5 | PCI デバイスのホットプラグです。 |
| B6 | NVRAM のクリーンアップを行います。 |
| B7 | NVRAM を再設定します。 |
| B8~BF | 予約済みです。 |
| C0~CF | 予約済みです。 |

S3 レジューム

| コード | 説明 |
|-----|-------------------------------------|
| E0 | S3 レジュームが開始されます (DXE IPL から呼び出される)。 |
| E1 | S3 レジューム用の起動スクリプトデータを入力します。 |
| E2 | S3 レジュームのため VGA を初期化します。 |
| E3 | OS は、S3 ウェイクベクターを呼び出します。 |

Recovery

| コード | 説明 |
|-------|--|
| F0 | 無効なファームウェアボリュームが検出された場合、リカバリーモードが実行されます。 |
| F1 | リカバリーモードは、ユーザーの判断によって実行されます。 |
| F2 | リカバリーが開始されます。 |
| F3 | リカバリー用のファームウェアイメージが検出されました。 |
| F4 | リカバリー用のファームウェアイメージがロードされました。 |
| F5~F7 | 将来の AMI プログレスコード用に予約済みです。 |

エラー

| コード | 説明 |
|-------|---|
| 50~55 | メモリーの初期化エラーが発生しました。 |
| 56 | 無効な CPU タイプまたは速度です。 |
| 57 | CPU が一致しません。 |
| 58 | CPU のセルフテストが失敗したか、CPU のキャッシュエラーの可能性が あります。 |
| 59 | CPU マイクロコードが見つからないか、マイクロコードの更新に失敗しま した。 |
| 5A | 内部 CPU エラーです。 |
| 5B | PPI のリセットに失敗しました。 |
| 5C~5F | 予約済みです。 |
| D0 | CPU 初期化エラーです。 |
| D1 | IOH 初期化エラーです。 |

| コード | 説明 |
|-------|---------------------------------|
| D2 | PCH 初期化エラーです。 |
| D3 | アーキテクチャプロトコルの一部が利用できません。 |
| D4 | PCI リソースのアロケーションエラーが発生しました。 |
| D5 | レガシーオプション ROM の初期化用のスペースがありません。 |
| D6 | コンソール出力デバイスが見つかりません。 |
| D7 | コンソール入力デバイスが見つかりません。 |
| D8 | 無効なパスワードです。 |
| D9-DA | ブートオプションをロードできません。 |
| DB | フラッシュの更新に失敗しました。 |
| DC | プロトコルのリセットに失敗しました。 |
| DE-DF | 予約済みです。 |
| E8 | S3 レジュームに失敗しました。 |
| E9 | S3 レジューム PPI が見つかりません。 |
| EA | S3 レジュームの起動スクリプトが無効です。 |
| EB | S3 OS ウェイクコールが失敗しました。 |
| EC-EF | 予約済みです。 |
| F8 | リカバリー PPI は無効です。 |
| <F9> | リカバリーカプセルが見つかりません。 |
| FA | 無効なリカバリーカプセルです。 |
| FB-FF | 予約済みです。 |

Regulatory Notices

United States of America, Federal Communications Commission Statement

Supplier's Declaration of Conformity 47 CFR § 2.1077 Compliance Information

Product Name: **Motherboard**
Trade Name: **GIGABYTE**
Model Number: **W790 AI TOP**

Responsible Party – U.S. Contact Information: **G.B.T. Inc.**
Address: 17358 Railroad street, City Of Industry, CA91748
Tel.: 1-626-854-9338
Internet contact information: <https://www.gigabyte.com>

FCC Compliance Statement:

This device complies with Part 15 of the FCC Rules, Subpart B, Unintentional Radiators. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

The FCC with its action in ET Docket 96-8 has adopted a safety standard for human exposure to radio frequency (RF) electromagnetic energy emitted by FCC certified equipment. The Intel PRO/Wireless 5000 LAN products meet the Human Exposure limits found in OET Bulletin 65, 2001, and ANSI/IEEE C95.1, 1992. Proper operation of this radio according to the instructions found in this manual will result in exposure substantially below the FCC's recommended limits.

The following safety precautions should be observed:

- Do not touch or move antenna while the unit is transmitting or receiving.
- Do not hold any component containing the radio such that the antenna is very close or touching any exposed parts of the body, especially the face or eyes, while transmitting.
- Do not operate the radio or attempt to transmit data unless the antenna is connected; if not, the radio may be damaged.
- Use in specific environments:
 - The use of wireless devices in hazardous locations is limited by the constraints posed by the safety directors of such environments.
 - The use of wireless devices on airplanes is governed by the Federal Aviation Administration (FAA).
 - The use of wireless devices in hospitals is restricted to the limits set forth by each hospital.

Antenna use:

In order to comply with FCC RF exposure limits, low gain integrated antennas should be located at a minimum distance of 7.9 inches (20 cm) or more from the body of all persons.

Explosive Device Proximity Warning

Warning: Do not operate a portable transmitter (such as a wireless network device) near unshielded blasting caps or in an explosive environment unless the device has been modified to be qualified for such use.

Antenna Warning

The wireless adapter is not designed for use with high-gain antennas.

Use On Aircraft Caution

Caution: Regulations of the FCC and FAA prohibit airborne operation of radio-frequency wireless devices because their signals could interfere with critical aircraft instruments.

Other Wireless Devices

Safety Notices for Other Devices in the Wireless Network: Refer to the documentation supplied with wireless Ethernet adapters or other devices in the wireless network.

Canada, Canada-Industry Notice:

This device complies with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
 - (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.
- Cet appareil est conforme aux normes Canada d'industrie de RSS permis-exempt. L'utilisation est assujéti aux deux conditions suivantes: (1) le dispositif ne doit pas produire de brouillage préjudiciable, et (2) ce dispositif doit accepter tout brouillage reçu, y compris un brouillage susceptible de provoquer un fonctionnement indésirable.

Caution: When using IEEE 802.11a wireless LAN, this product is restricted to indoor use due to its operation in the 5.15-to 5.25-GHz frequency range. Industry Canada requires this product to be used indoors for the frequency range of 5.15 GHz to 5.25 GHz to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems. High power radar is allocated as the primary user of the 5.25-to 5.35-GHz and 5.65 to 5.85-GHz bands. These radar stations can cause interference with and/or

damage to this device. The maximum allowed antenna gain for use with this device is 6dBi in order to comply with the E.I.R.P limit for the 5.25-to 5.35 and 5.725 to 5.85 GHz frequency range in point-to-point operation. To comply with RF exposure requirements all antennas should be located at a minimum distance of 20cm, or the minimum separation distance allowed by the module approval, from the body of all persons.

Attention: l'utilisation d'un réseau sans fil IEEE802.11a est restreinte à une utilisation en intérieur à cause du fonctionnement dans la bande de fréquence 5.15-5.25 GHz. Industry Canada requiert que ce produit soit utilisé à l'intérieur des bâtiments pour la bande de fréquence 5.15-5.25 GHz afin de réduire les possibilités d'interférences nuisibles aux canaux co-existants des systèmes de transmission satellites. Les radars de puissances ont fait l'objet d'une allocation primaire de fréquences dans les bandes 5.25-5.35 GHz et 5.65-5.85 GHz. Ces stations radar peuvent créer des interférences avec ce produit et/ou lui être nuisible. Le gain d'antenne maximum permise pour une utilisation avec ce produit est de 6 dBi afin d'être conforme aux limites de puissance isotropique rayonnée équivalente (P.I.R.E.) applicable dans les bandes 5.25-5.35 GHz et 5.725-5.85 GHz en fonctionnement point-à-point. Pour se conformer aux conditions d'exposition de RF toutes les antennes devraient être localisées à une distance minimum de 20 cm, ou la distance de séparation minimum permise par l'approbation du module, du corps de toutes les personnes.

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be chosen so that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p.) is not more than that necessary for successful communication.

Conformément à la réglementation d'Industry Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industry Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radio électrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

European Union (EU) CE Declaration of Conformity

This device complies with the following directives: Electromagnetic Compatibility Directive 2014/30/EU, Low-voltage Directive 2014/35/EU, Radio Equipment Directive 2014/53/EU, ErP Directive 2009/125/EC, RoHS directive (recast) 2011/65/EU & the 2015/863 Statement.

This product has been tested and found to comply with all essential requirements of the Directives.

European Union (EU) RoHS (recast) Directive 2011/65/EU & the European Commission Delegated Directive (EU) 2015/863 Statement

GIGABYTE products have not intended to add and safe from hazardous substances (Cd, Pb, Hg, Cr+6, PBDE, PBB, DEHP, BBP, DBP and DIBP). The parts and components have been carefully selected to meet RoHS requirement. Moreover, we at GIGABYTE are continuing our efforts to develop products that do not use internationally banned toxic chemicals.

European Union (EU) Community Waste Electrical & Electronic Equipment (WEEE) Directive Statement

GIGABYTE will fulfill the national laws as interpreted from the 2012/19/EU WEEE (Waste Electrical and Electronic Equipment) (recast) directive. The WEEE Directive specifies the treatment, collection, recycling and disposal of electric and electronic devices and their components. Under the Directive, used equipment must be marked, collected separately, and disposed of properly.

WEEE Symbol Statement



The symbol shown below is on the product or on its packaging, which indicates that this product must not be disposed of with other waste. Instead, the device should be taken to the waste collection centers for activation of the treatment, collection, recycling and disposal procedure.

For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact your local government office, your household waste disposal service or where you purchased the product for details of environmentally safe recycling.

Battery Information

European Union—Disposal and recycling information
GIGABYTE Recycling Program (available in some regions)



This symbol indicates that this product and/or battery should not be disposed of with household waste. You must use the public collection system to return, recycle, or treat them in compliance with the local regulations.

End of Life Directives-Recycling



The symbol shown below is on the product or on its packaging, which indicates that this product must not be disposed of with other waste. Instead, the device should be taken to the waste collection centers for activation of the treatment, collection, recycling and disposal procedure.

Déclaration de Conformité aux Directives de l'Union européenne (UE)

Cet appareil portant la marque CE est conforme aux directives de l'UE suivantes: directive Compatibilité Electromagnétique 2014/30/UE, directive Basse Tension 2014/35/UE, directive équipements radioélectriques 2014/53/UE, la directive RoHS II 2011/65/UE & la déclaration 2015/863. La conformité à ces directives est évaluée sur la base des normes européennes harmonisées applicables.

European Union (EU) CE-Konformitätserklärung

Dieses Produkte mit CE-Kennzeichnung erfüllen folgenden EU-Richtlinien: EMV-Richtlinie 2014/30/EU, Niederspannungsrichtlinie 2014/35/EU, Funkanlagen Richtlinie 2014/53/EU, RoHS-Richtlinie 2011/65/EU erfüllt und die 2015/863 Erklärung.

Die Konformität mit diesen Richtlinien wird unter Verwendung der entsprechenden Standards zur Europäischen Normierung beurteilt.

CE declaração de conformidade

Este produto com a marcação CE estão em conformidade com das seguintes Diretivas UE: Diretiva Baixa Tensão 2014/35/EU; Diretiva CEM 2014/30/EU; Diretiva RSP 2011/65/EU e a declaração 2015/863.

A conformidade com estas diretivas é verificada utilizando as normas europeias harmonizadas.

CE Declaración de conformidad

Este producto que llevan la marca CE cumplen con las siguientes Directivas de la Unión Europea: Directiva EMC 2014/30/EU, Directiva de bajo voltaje 2014/35/EU, Directiva de equipamientos de radio 2014/53/EU, Directiva RoHS 2011/65/EU y la Declaración 2015/863.

El cumplimiento de estas directivas se evalúa mediante las normas europeas armonizadas.

CE Dichiarazione di conformità

I prodotti con il marchio CE sono conformi con una o più delle seguenti Direttive UE, come applicabile: Direttiva EMC 2014/30/UE, Direttiva sulla bassa tensione 2014/35/UE, Direttiva di apparecchiature radio 2014/53/UE, Direttiva RoHS 2011/65/UE e Dichiarazione 2015/863.

La conformità con tali direttive viene valutata utilizzando gli Standard europei armonizzati applicabili.

Deklaracja zgodności UE Unii Europejskiej

Urządzenie jest zgodne z następującymi dyrektywami: Dyrektywa kompatybilności elektromagnetycznej 2014/30/UE, Dyrektywa niskonapięciowej 2014/35/UE, Dyrektywa urządzeń radiowych 2014/53/UE, Dyrektywa RoHS 2011/65/UE i dyrektywa 2015/863.

Niniejsze urządzenie zostało poddane testom i stwierdzono jego zgodność z wymaganiami dyrektywy.

ES Prohlášení o shodě

Toto zařízení splňuje požadavky Směrnice o Elektromagnetické kompatibilitě 2014/30/EU, Směrnice o Nízkém napětí 2014/35/EU, Směrnice o rádiových zařízeních 2014/53/EU, Směrnice RoHS 2011/65/EU a 2015/863.

Tento produkt byl testován a bylo shledáno, že splňuje všechny základní požadavky směrnice.

EK megfeleléségi nyilatkozata

A termék megfelelnek az alábbi irányelvek és szabványok követelményeinek, azok a kiállításidőpontjában érvényes, aktuális változatában: EMC irányelv 2014/30/EU, Kíszfeszültségű villamos berendezésekre vonatkozó irányelv 2014/35/EU, rádióberendezések irányelv 2014/53/EU, RoHS irányelv 2011/65/EU és 2015/863.

Δήλωση συμμόρφωσης ΕΕ

Είναι τα συμμόρφωση με τις διατάξεις των παρακάτω Οδηγιών της Ευρωπαϊκής Κοινότητας: Οδηγία 2014/30/ΕΕ σχετικά με την ηλεκτρομαγνητική συμβατότητα, Οδηγία χαμηλής τάσης 2014/35/ΕΕ, Οδηγία 2014/53/ΕΕ σε ραδιοεξοπλισμό, Οδηγία RoHS 2011/65/ΕΕ και 2015/863.

Η συμμόρφωση με αυτές τις οδηγίες αξιολογείται χρησιμοποιώντας τα ισχύοντα εναρμονισμένα ευρωπαϊκά πρότυπα.

| WARNING | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">• INGESTION HAZARD: This product contains a button cell or coin battery.• DEATH or serious injury can occur if ingested.• A swallowed button cell or coin battery can cause Internal Chemical Burns in as little as 2 hours• KEEP new and used batteries OUT OF REACH OF CHILDREN• Seek immediate medical attention if a battery is suspected to be swallowed or inserted into any part of the body. | |

- Battery type: CR2032, voltage rating: +3VDC.
- Non-rechargeable batteries are not to be recharged.
- Remove and immediately recycle or dispose of used batteries, batteries from equipment not used for an extended period of time according to local regulations and keep away from children. Do NOT dispose of batteries in household trash or incinerate.
- Even used batteries may cause severe injury or death.
- Do not force discharge, recharge, disassemble, heat above (manufacturer's specified temperature rating) or incinerate. Doing so may result in injury due to venting, leakage or explosion resulting in chemical burns.
- For treatment information, call a local poison control center.
- The product contains non-replaceable batteries.

European Community Directive R&TTE Directive Compliance Statement:

This equipment complies with all the requirements and other relevant provisions of Radio Equipment Directive 2014/53/EU.

The IEEE 802.11 wireless LAN 5.15 GHz~5.35 GHz and/or Wi-Fi 6E Low Power Indoor 5.945 GHz~6.425 GHz (or 5.925 GHz~6.425 GHz in UK) frequency bands are restricted for indoor use only in all countries listed in the matrix below.

| | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|----|----|
|   | AT | BE | BG | CH | CY | CZ | DE |
| | DK | EE | EL | ES | FI | FR | HR |
| | HU | IE | IS | IT | LI | LT | LU |
| | LV | MT | NL | PL | PT | RO | SE |
| | SI | SK | TR | | | | |
| | | | | | | | |

UK The Radio Equipment Regulations 2017 Statement:

This equipment complies with all the requirements and other relevant provisions of Radio Equipment Regulations 2017.

The IEEE 802.11 wireless LAN 5.15 GHz~5.35 GHz and/or Wi-Fi 6E Low Power Indoor 5.925 GHz~6.425 GHz frequency bands are restricted for indoor use only.



NCC Wireless Statements / 無線設備警告聲明 :

低功率電波輻射性電機管理辦法

- 取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。
- 應避免影響附近雷達系統之操作。

Korea KCC NCC Wireless Statement:

5.25GHz - 5.35 GHz 대역을 사용하는 무선 장치는 실내에서만 사용하도록 제한됩니다.












Japan Wireless Statement:

5.15 GHz 帯 ~ 5.35 GHz 帯 & 6GHz LPI 帯 : 屋内のみの使用。

Wireless module approvals:

Wireless module manufacturer: Intel® Corporation

Wireless module model name: BE200NGW

| | | | |
|--|--|---|---|
| United States FCC: FCC ID: PD98E200NG CanadaISED: IC: 1000M-BE200NG | Europe:  | Pakistan PTA: Approved by PTA TAC no.: 9.697/2023 |  |
| Australia ACMA:  | India WPC: ETA-SD-20230807704 Japan 総務省:  003-240052 D230105003 | Serbia:  TR01 ZS | Ukraine:  UA.TR.028 |
| Brazil:  06538-23-04423 | Singapore IMDA:  Complies with IMDA standards DA108442 | United Kingdom:  | |
| Belarus:  | South Korea NRRA:  R-C-INT-BE200NGW | | |
| China CMIIT: CMIIT ID: 2023AJ15349 (M) | Oman TRA: Applicant number: D080001 Approval no.: TRA/TA-R/16505/23 | 1. 製造商: INTEL CORPORATION 2. 기기재의 명칭 (모델명): 무선소용량 무선기기 (주요명칭, 품명명, 무선랜카드) 모델명 무선기기 (9925-7125M42) / BE200NGW 3. 제조사/기: 2023 4. 제조사/국명: INTEL Corporation / China, Taiwan | |



連絡先

GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD.

アドレス：No.6, Baoqiang Rd., Xindian Dist., New Taipei City 231

TEL：+886-2-8912-4000、FAX：+886-2-8912-4005

技術および非技術サポート(販売/マーケティング)： <https://esupport.gigabyte.com>

WEBアドレス(英語)： <https://www.gigabyte.com>

WEBアドレス(中国語)： <https://www.gigabyte.com/tw>

- **GIGABYTE eSupport**

技術的または技術的でない(販売/マーケティング) 質問を送信するには：
<https://esupport.gigabyte.com>

The screenshot shows the GIGABYTE eSupport interface. At the top left is the GIGABYTE logo. The main heading is 'Welcome to eSupport' in blue. Below it, a message states: 'Submit your product/sponsorship/marketing questions or inquiries, and our representative will respond in a timely fashion.' The page is divided into three main sections: 'NEWS', 'SIGN IN', and 'QUICK LINK'. The 'NEWS' section contains the text: 'Your submissions will be displayed in your personal page, log in to see the processing status.' The 'SIGN IN' section has fields for 'Account' and 'Password', a 'SIGN IN' button, and social media icons for Facebook, Google, Twitter, and LinkedIn. The 'QUICK LINK' section includes icons for 'Downloads', 'FAQ', and 'Warranty'.